夕刊
滿洲日報
三月十四日
發行所　大連市東公園町廿一番地　株式會社滿洲日報社

露支正式會議は結局無期延期となる形勢

『勞農は現狀に滿足して急がず 莫支那全權も赴露の意思なし』

【ハルビン特電十三日發】露支正式會議は南京政府の聲明に對し勞農政府は反對し結局無期延期となる形勢で、勞農は既に東支鐵道に對して滿足なる結果を得、思ふ存分の仕事をしてゐるので正式會議は問題にして居らない、支那側もまた會議を開いても何ら利する點なきを豫見し莫全權もモスクワに向ふ意思は無いと

補助艦は三國間で制限

その他は五國間に最後的協定 歐洲組不調と我對策

【ロンドン十三日發電】補助艦保有量問題につきては英、佛、伊の歐洲組間の交渉はいよいよ決裂せんとし、英は主催國として之を避けんため最後の努力をしてゐるが佛の自主的七十二萬噸の保有要求は伊の對佛要求に讓歩の餘地一歩もなきこと明かとなり、英の最後的努力も水泡に歸せんとしつゝあり、斯くして歐洲組の協定は不調に終つた、而して英、米は其對內的政策の立場上何等かの成果を得る必要に迫られ居る關係上一九二七年のジユネーヴ會議の如く日、英、米三國名義になる段取であるが、日本としては軍縮の精神から飽くまで世界大海軍國たる五ケ國の軍縮を主張し、補助艦保有量の協定が不可能ならば

一、割合に協定可能の見込みある主力艦代換建造延期
二、一萬噸以下の航空母艦を制限艦種に包含すること

而して今までの會議に於て大體意見の一致を見た

一、制限外艦艇
一、制限法規中の艦種別問題
一、特殊艦艇の問題

等を五國間の最後的協定として決定し置き、補助艦問題は日、英、米三國間に限り保有量を制限すべく若槻全權は今後注目すべき努力を拂ふものと豫想されてゐる

米國は日本に對し總括的七割承認か

依然わが主張と隔る

【ロンドン十三日發電】日米交渉は相當接近した程度迄進んで來た即ち十二日若槻スチムソン兩氏會見に於いてアメリカは總括的七割に近きものを承認する迄になつて來たが內容に至つては到底日本の滿足するところならず、此意味に於て日米間の意見はなほ依然として多大の間隔を有してゐると云ふべく恰も此時英、佛交渉が停頓狀態を呈して來たことは當然日米交渉の進展にも影響すべくかたがた局面展開にはなほ相當の時日を要すべしと信ぜられてゐる

米全權側は樂觀 但し上院の批准困難

【ロンドン十三日發電】アメリカ側の信ずべき筋の情報によれば米全權方面では日本の七割主張による兩國の主張相違點は今や殆ど事實上の解決を見る一階梯迄到達したと信じて居るが右アメリカ側の解釋は上院の批准を得るに困難を免れざるべし言はれてゐる

若槻全權は文官の大將 アメリカで激賞

【ロンドン十三日發電】若槻全權は今や我全權部內では勿論各國全權中でも押しも押されもしない海軍通の第一人者とされ複雜な各種の數字專門的事項に對する理解力と精通振りは驚くばかりで殊に其交渉振りに至つては無類の強腰でねばりの點では相手方は深甚の敬意を表して居りアメリカなどでは氏を文官の海軍大將だと稱してゐると

齋藤總督、仙石總裁送別會

拓相官邸に各閣僚が集まつて

齋藤朝鮮總督、仙石滿鐵總裁は政局も一段落ついたのでそれぞれ近く歸任の途に上ることになつたが、兩氏と最も關係の深い松田拓相が主催となり、兩氏の慰勞兼送別會を去る七日夜拓相官邸に開催した、幣原外相を除く外濱口首相以下各閣僚列席、我國の春を謳歌する所あつた、【寫眞は前列向つて右より、俵商相、齋藤朝鮮總督、仙石滿鐵總裁、濱口首相、町田農相、江木鐵相、小泉遞相、後列右より田中文相、宇垣陸相、松田拓相、小村拓務次官、小坂拓務政務次官】

朝鮮の自治擴張

昭和俱樂部議員に對して 齋藤總督事情を說明

【東京十四日發電】先般決定せる朝鮮地方自治に關し齋藤總督の意嚮を聽取すべく貴族院昭和俱樂部では十三日午後二時より昭和會館に所屬會派全員の會合を開き先づ齋藤總督より過般勃發せる學生騷擾事件の原因其後の經過とを簡單に報告したる後朝鮮地方自治制度改正に關し詳細に說明をなし質問に入り

阪本釤之助氏 學生暴動の結果自治權を擴張せりと考へられはせぬか

齋藤總督 自治權の擴張と學生事件とは何等關係なし

阪本氏 學生暴動の後を受けて自治權を擴張せるは人心に迎合する如く考へられ今後進んで參政權要求の動機になりはせぬか

總督 左樣な事態を馴致するかも知れぬが今回は適當と認むる範圍で擴張するので今後の事は兎や角云はれぬ方が宜い

大津淳一郎氏 自治權と兵役義務とは聯絡ある樣に思ふが徴兵制實施に就いては總督は之を考慮された事があるか

總督 議論は種々あるべきも實際上制度實施までは相當期日と調査研究を要すべく尙早と思ふ

藤村義朗男 自治權の擴張は結構であるが實績を擧げるには運用上の困難あり內地の自治制に於いても經濟的基礎を困却した結果今日では徒らに地方費の膨脹を來し居れり、其實例より見る時は朝鮮も自治權擴充の結果必らず財政的窮乏を招來しはせぬか

總督 御懸念は素よりなるが大地主と小作人との關係を圓滑ならしむべく低資融通等にて着々實効を擧げつゝある外副業を勸め一般產業開發に努めてゐるから地方經濟も相當發展する事と思ふ

石渡敏一氏 總督府は今回を機會に財政的獨立を考慮せざりしや

總督 現下の狀態では財政的獨立は困難であるが產業の奬勵、財政整理は益々目的達成に努力するであらう

之にて質問を終り五時散會した

勅選補充の方針

江口、土方、片岡三氏が有力 元田翁問題とならず

【東京十四日發電】特別議會を控へて政府は勅選議員七名の補缺を考慮し始めたが、濱口首相の許には既に閣僚又は黨內有力者を通して自薦他薦の候補者多數を列べてゐるが、政府としては黨內關係及び現內閣の功勞者と云ふ銓衡方針以外に來る特別議會は義務教育費國庫負擔問題、糸價補償問題等を難物と見てゐるので、此方面の鬪士をも考慮して選定し度い希望から濱口首相は此等の點につき留意して人物を物色してゐるが、結局缺員七名中三名位を選び四名の餘裕を殘して置くものと見られてゐる、尙奏請期は多分四月初めになる筈で候補者中閣內及び黨內に於いて異論少く最も有力とされてゐるのは三菱の江口定條、日銀總裁土方久徴、與黨の片岡直溫三氏であるが政友會の元田肇老をも考慮され度いと申し込んだ者もあつたが今は問題となつてゐない

治廢交渉は困難

日本は依然漸進主義を強調し 支那は即時撤廢主張

【東京十四日發電】日支關稅協定の內容は大體既報の通りであるが、協定中の第一項目として日支兩國は該協定に次ぐべき全般的條約の改訂交渉に着手する事となつてゐるので、重光代理公使は王部長と會見引續き交渉打合せを爲すこととなつて居る、交渉開始の上は從來の行掛上恐らく治外法權の撤廢から始めらるゝものと信ぜらるゝが支那側は即時撤廢を主張すべく日本側は既定方針たる漸次撤廢と云ふ主張を爲すべく双方の主張に相當の隔りあること豫ての如くなれば前途の困難は豫期せざるを得ぬとされて居る

關稅協約正式調印期

【上海十三日發電】横竹商務參事官は昨日假調印された日支關稅協定書類を攜へ今朝上海に引返へしたが、十四日出帆の長崎丸で歸朝することゝなつた、支那側が正式調印を急いでゐるので政府は直に右案の樞府御諮詢を奏請すべく遲くも四月初め頃正式調印となるものと信ぜらる

決戰に敗北せば保境安民に還る

太原軍事會議で決定

【北平十三日發電】探聞するところに依れば太原軍事會議の結果主戰派は文人派を完全に抑へ中央軍に對抗することになつた模樣であるが、其具體的辦法として閻錫山氏の斷乎たる決心を促し、太原或は北平に北方臨時政府を立て雜軍を糾合すると共に北方軍閥の團結を圖り、閻錫山氏は石家莊までなりとも出馬して反蔣各軍の指揮を鼓吹して蔣介石氏と雌雄を決すべく若し之に失敗した場合は昔の山西モンロー主義に戻る肚にて軍備は依然進められてゐるやうで、閻錫山氏の外遊に關しては當地山西要人が口を揃へて之れを否認してゐる

中央軍の總指揮

【北平十三日發電】鄭州來電に依れば蔣介石氏は六日附にて左の如く北伐軍各路總指揮を任命した

△第三路前敵總指揮　韓復榘　劉春榮、孫魁元の二軍之に屬し第二十師、二十九師は開封より黃河を渡り道口附近に集中
△平漢線方面總指揮　石友三　第十師、二十四師之に屬し即日平漢線河北省境に集中
△津浦線方面總指揮　馬鴻逵　副總指揮　胡祝同
△第一總豫備隊總指揮　陳調元
△第二總豫備隊總指揮　王金鈺

明年度實行豫算

十六億三、四百萬圓 來る二十日頃閣議で決定

【東京十四日發電】明年度實行豫算は歲入豫算見積り替へのため査定が遲延し目下大藏省主計局と各省當局との間に新規事業の再削減を折衝中であるが、關稅其他租稅官業收入に於て千五百萬圓の自然減は豫算編成方針に非常なる變更を餘儀なくせしめ緊急避くべからざる新規事業及び金解禁善後施設としての重要政策に屬するものゝ外一切削除削減することゝなり二三日中に略決定の見込みであるが實行豫算は十五億六千五百萬圓、追加豫算は解禁善後施設費、災害復舊費、支那駐屯經費等の新規費目を加へて三千八百萬圓に止まり明年度豫算總額は十六億三四百萬圓程度と見られてゐる、而して豫算閣議に於て最後の決定を見るのは二十日過ぎであらうと

政友會幹部會

【東京十四日發電】政友會定例幹部會は十三日午後一時より本部に開會し島田、宮古各總務、森幹事長以下各部長等出席あり幹事長より群馬縣一區より選出の中島知久平氏が正式に入黨せる旨報告し議員總會開催の件につき懇談する處あり未だ選擧の後始末もつかぬ今日取急ぎ總會を開く程の問題もないから時機を見て開催すると言ふ事に決し現下の時局、財界諸問題につき意見を交換した

圖書館長會議

【東京十四日發電】文部省では圖書館の普及發達を圖るべく十三、四兩日全國道府縣私立圖書館長會議を開く事となり十三日は午前十時より開催全國より三十餘名出席し本省からは文相以下出席あり文相より一場の訓示あり諸問事項につき協議し特別委員をして答申案を作製せしむる事とし意見交換を行つた

山口縣議視察團

山口縣議視察團十五日入港のばいかる丸にて着連十七日まで大連及び旅順を視察の上奥地に向ふ由、尙同縣にては今夏當地に見本市開催の計畫あり今回の視察は之が下調査の爲めである一行の氏名は

縣會議員　藤山康一、山根鐵藏、中野治介、末永嘉七、山賀州介の五氏農務課長岡本事務官

又當地大連防長會にては十五日午後六時より連鎖商店街扶桑仙館にて歡迎會を催すと

不服從同盟隊が警官隊と衝突す

ボンベー市內各所で

【ボンベイ十三日發電】不服從同盟の同盟罷業員は當地の各所で警官隊と衝突し多數の負傷者を出し罷業團員五名は逮捕され罷業員五十名は鐵道線路に橫たはつて列車の運行を妨害した

▲高橋富十郎氏（遞信書記兼簡保局書記）四月四日から六日間東京に於て開催の遞信省簡易保險課長會議へ出席

ガ氏一行示威行脚

【ボムベイ十三日發電】十二日いよいよ對英不服從示威行脚の第一歩を踏出しアシユラムよりアスラリムラに到着したガンヂー氏並に其麾下の第一義勇隊の一行は今朝七哩距れた次の地點へ向つて出發したが、沿道には見送りの人出無く歡呼を送る者もなかつた

資金乏しく運動自然消滅か

【ボンベイ十二日發電】ガンヂー氏の率ゆる不服從同盟の一隊は第一日目の目的地たるアスラリーノ村に到着したがガ氏は玆でも參集した村民達に鹽稅が廢されぬ內はアスラムに歸らぬと述べたアスラムからこのガ氏の芝居がかつた出發の光景を見物しやうとついて來た人達もアーメグハツトに來て止むなく仕事をして居るが、ガ氏今度の運動に對しては一般インド人は之を支持せんとするも資金に乏しい樣であるから政府が壓迫しないでも大した事とならず自然消滅するものと觀られて居る

人事

▲渡邊中氏（陸軍一等軍醫正）加藤赳夫氏（陸軍一等獸醫）東京に榮轉二十二日發赴任すべく十四日各所廳訪挨拶

大觀小觀

大洋組、やゝ進展の模樣あるも歐洲組、依然として硬化。

◇

若槻全權、千兩役者として全權中に光る。

◇

これ日本の主張の公明正大なるがためなり。

◇

ただ米國が七割を認め內容に兎や角は不審。

◇

佛の硬化、而して伊佛の間に英の介在、察するに餘りあり。

◇

閻錫山、山西で硬化。ぬらりくらりの背水の陣を布く。

◇

併し現ナマの小出しは成功せるものと知るべし。

◇

洞ケ峠は禁物。首鼠兩端を持せば身首を異にせん。

天氣豫報

十五日（北西の風）曇後晴

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	七、六	零下〇、二
旅順	八、七	零下〇、七
奉天	一、八	〇、二
營口	六、九	零下二、〇
長春	三、三	同〇、五

暴風警報 風強かるべし十四日午後一時南滿洲附近一帶の警戒を要す

走馬燈

荻川

東四省（其五）

日支關稅協定の假調印が終つたと云ふ、其內容を知り能はぬから、輕々敷これに批判を下す譯にはゆかぬが、兎に角も此關稅問題が解決されたは、日支兩國の爲め喜ぶべきことである、傳ふるところによれば、次の交渉は治外法權撤廢問題とか、兩國の通商航海條約の改訂は、斯くして其一章毎に片附けるのだそうで、これも條約の實行に無駄がなくて好い、而も一章なりともに、相互の妥協を見出す、他も此精神に立てば、全章はすらすらと纏まらん。

◇

由來此條約改正が改訂の期に入りながら、其改訂の出來ざりしは、支那政情の不安定にもよるべけれど、他方には、過ぎし北京の列國關稅會議にて、日本が諄々として支那の爲に說いた意義が、支那當局に通じなかつたに基くとも考えらる、然るにこゝに其協定が成り立つたとあらば、這次の協定締結者たる南京國民政府筋には、此了解ありと思はねばならぬ、協定締結も喜ばしきことだが、日本としては、それよりも其了解が最も嬉しく感ずる。

◇

苟くも支那の政治に携はらんほどのものは、此際あらたまつて列國關稅會議で日本が述べた信念を、記錄によつてゞも讀んで貰ひたい、そうして篤とそれに會得がいつてこそ、今度の協定も生きて來る、東四省でも、隨分と是迄に關稅から、彼我の間に紛糾を起したが、もうそれはあるまい、況んや支那關稅に對する日本の眞劍なる態度が讀めたら、本協定の尊重なぞ、最も嚴格に行はるべしと信ずる、斯くては此精神を他の條約にも適用したい、條約の尊重、それが國交親善の基礎である。

◇

忌憚なく云ふと、日本からせば、過去のことなるが東四省官憲には、此條約尊重の心が乏しかつたと云ひたい、それで色んな悶着も起きたが、兩者そこに善き芽が出てかにも感ぜられ、此時此際這次の關稅協定あり、更に續いて支那側の希望する治外交渉にも、列國に先んじ、相互で目鼻をつけ得るが如き傾向を觀る、東四省官憲も正に此氣運に乘るべし、そうしての日支親善はどうか、尤も外交は南京のものだが、此外交を基礎に成立つ滿洲に於ける日支の關係にも現在の氣運を必要とし、日本には素より此覺悟ありじや。

鎭海慘事弔慰義捐金募集

締切　昭和五年三月二十日正午迄
受付　大連市役所庶務係
義捐　一口金拾錢也以上

但し應募者氏名を大連、滿日兩紙上に掲載し受領書に代ふ、募集金額の處置は大連市長に一任す

昭和五年三月

大連市役所
大連新聞社
滿洲日報社

無登記の土地は ドシドシ回收出來る

關東州內地主に恐慌時代が來た 下された新判決例

無償で典地回贖が出來るといふ新判決例が大連地方法院森本裁判長によつて下され、關東州內の地主（典主）に恐慌時代を招來してゐる——訴訟の內容は普蘭店平安街子會一三五番地本間選が管內士城子會溫廷芳を相手取つて起したもので原告の（代理古賀辯護士）主張は普蘭店大城子會大城子屯の一、四一七番外四典地（質權）をその所有者訴外吳世全から昭和三年七月原告が買ひ受けたが、この土地は被告等がかつて吳世全から典得した土地で

移轉登記 をなすことも出來ずいろいろ調べて見ると被告等は大正十三年八月一日關東州內の支那人間にも民法が施行され、同日から一ケ年內に典得（即ち質權）の登記をせねば典主たる權利を生ぜず、第三者に對抗することが出來ぬと民法施行法によつて明文されてゐるに拘はらず、今日に至るも登記の手續きをしてをらぬから典得者たる權利がない、故に代償を出して典地としてをつても原告は無償で被告の土地引渡しを要求するといふにあるが、これに對し被告代理人立川辯護士は被告等の典地たることは民政署土地臺帳に登錄されてをり、土地臺帳は登記濟と見做すといふ規定あれば

登記濟も 同樣であると抗辯したが、森本裁判長は民法施行の大正十三年八月一日より一年內に登記するにあらざれば第三者に對抗するを得ず、故に被告は本訴の土地につき不動產質權と見做さるゝ典權を有するものといへど所謂權利の上に眠りて其の法定の期間內に登記を爲さず、以て原告に對しその權利を對抗することが出來ぬ。また土地臺帳は登記簿と見做すべき筋合にあらずとの理由で原告の勝訴に歸した譯である、判決の結果無償で典地回贖が出來るとなれば關東州內の土地の

過半數は 無登記である爲め、訴訟を起してドシドシ回收するものが續出すべく、州內の地主に取り死活問題として成行きを注目されてゐる

無電で自由に タンクを操縱

長山少佐苦心の研究 四年振りに報いらる

【東京十四日發電】ラヂオを利用してタンクを操縱する實驗は十三日降雨中に拘らず小石川の砲兵工廠構內にて行はれた、長さ三間位のタンクには車上に小さな穴が附されて居り、これを長山少佐が無電送電操縱機にて動かすのであるが、少佐の意の儘にタンクは前進後退、機關銃發射等十六種の動作を現はし非常な好成績を收めた、どうして動かすかといふ細い點は秘密に附されて居るので判明せぬが、十六種の鍵にて操る無電はタンクに裝置されてある同樣十六種の鍵に感じこれに依り操縱さるゝもので少佐は之が操縱完成には四年を費したと

丁抹皇儲殿下 南京政府御訪問遊さる

丁支親善の歡迎會開かる

【南京十三日發電】一昨夕上海に投錨したデンマーク皇太子殿下御一行御乘船のフクオニヤ號は、夜來の雨からりと晴れた今朝九時悠揚たる長江の濁流をけつて支那奉迎艦の先導により在泊各國軍艦の皎々たる皇禮砲裡に遡航したが純白の船體には旭光輝き檣頭高く皇太子旗は飜へつた、斯くて列國軍艦滿艦飾裡に下關海軍埠頭沖合に投錨し

御一行 は午前十一時上陸午後二時國民政府を御訪問、蔣介石夫妻、五院々長各夫妻、各部長夫妻等は何れも玄關に御一行を御出迎へ申し上げ大禮堂でシャンパンを拔いて丁支親善の歡迎會が開かれた、殿下の御一行は午後三時四十分フイオニア號に御歸還あらせられたが、次で同艦上にレセプションが開かれ蔣介石以下國民政府要人領事團其の他が御招待を受けた

陸軍記念祝賀會に 親臨の聖上陛下

日露大戰滿二十五周年に當る三月十日の陸軍記念日は全國的に有意義に記念すべく樣々な催し物があつたが陸軍では既報の如く午前十時より戶山學校に聖上陛下の親臨を仰ぎ盛大なる記念祝賀會が行はれた【寫眞は行幸の聖上陛下】

神明高女 卒業式

けふ擧行さる

大連神明高等女學校第十五回卒業式は十四日午前十時より來賓として關東長官代理長尾視學官、田中市長、富田民政署庶務課長、大連公議會長張本政氏、小崗子公議會劉樹堂氏及び各中等學校長を初め生徒保護者等多數列席の下に擧行卒業證書賞狀の授與終つて石川校長の懇切な訓辭あり、次いで關東長官訓辭（長尾視學官代讀）田中市長、張本政氏、劉樹堂氏の各來賓祝辭、伊藤砂子孃の在校生總代送辭、持原順子孃の卒業生總代答辭あり、最後に高田友吉氏卒業生保護者總代として一場の挨拶を述べ、同十一時五十分式を終つた、本年校門を巢立つた榮ある卒業生は五年五十三名、四年百七十一名でそのうち優等、皆勤者は左の如くである

▲優等生（五年）神成滿洲子、濱田春枝、持原順子、矢代エイ、各務米岡滿沙（四年）有川アヤ、北里正子、木下ハツエ、北里泰子、久保壽、小杉すゑ、砂原カノエ、高田マス子、田中菊枝、栃內幸子、中島澄子、林靜、濱本美代子、藤谷君子、元木彌生子、矢野周子、吉本俊子▲五年皆勤丸山マサ▲四年皆勤五十嵐フミ、村田トシコ

鎭海小學校に 弔慰電

滿鐵の小學校職員兒童一同が

慶南朝鮮鎭海小學校の遭難事件に對して滿鐵學務課では十四日滿鐵設立小學校職員兒童一同の名をもつて、鎭海面氣附で遭難兒童遺族一同宛に左の如き弔慰電報を發し深厚なる弔意を表した

お友達の多くの方が不慮の災禍に遭はれましたとのこと、皆樣の御悲しみの程察し上げます、謹みてお悔み申上ます。

子供デーの入場料を弔慰金に

常盤座にては來る十六日に開催する恆例日曜日の子供デーの入場料總額を鎭海慘事の弔慰金として贈ることになつた

邦人專門の 竊盜捕ふ

市內各所で

十三日午後八時ごろ市內千代田町を徘徊中の擧動不審の支那人を大連署刑事が逮捕取調べると住所不定王好善（三七）といひ、昨年二月二十六日市內龍田町十三番地、横川杪方裏口より忍び入り手提金庫を竊取、現金四十一圓十八錢を拔き取り金庫を山中に放棄したのを手初めに、山縣通一九四番地伊藤清三郎方、淡路町三三番地山下シゲ方、聖德街一丁目廣谷外次郎方、同街三丁目江東三郎方、同原不知維方、須磨町二二番地高野貞一方久方町八番地揚井英一方等で日本人を專門に現金其他六百四十五圓の竊盜を働いた旨自白した

ばいかる丸 まる一日延着

南朝鮮木浦沖の暴風雨のため所安島に假泊を餘儀なくされた十四日入港豫定の定期船ばいかる丸は十四日當地大阪商船支店への入電によれば、同日午前六時所安島を拔錨大連に向つたが、大連入港は十五日午前八時半前後となり、入港と共に全馬力をかけて荷役を完了十六日午前十一時半出帆する事になつたと

湯上り女を覘ふ 痴漢、各所に出沒

ゆふべ山縣通で又一人襲はる

最近市內各所に出沒し、女と見れば躍りかゝつて怪しげな行爲をする痴漢があり、こゝ一週間內に被害者十數名に及ぶといふ有樣で、スッカリ婦人に取つて夜の大連を恐怖の街にして了つた——この痴漢は二十七八歲の細面で、中折帽にマントを着し宵暗迫る頃から何處ともなく現はれ、市內各所の女湯をのぞいては怪しからぬ行爲をなし、或は湯歸りの女と見れば尾行し、躍りかゝるといふ物騷な男で、大連署では痴漢取押へに血眼になつてゐる、十三日午後九時ごろも市內山縣通り「みやこ湯」から出て來た彌生町本村キヨ（二〇）假名——の背後から猥褻行爲をなし大聲を揚げられ逃走した事件がある、被害者は何れも名譽を重んじて屆け出でないが、被害數はなほ多數に上る見込みで警察の嚴重取締を叫ぶ聲が各方面に起つてゐる

日本アルプス 燒嶽爆發

【長野縣豐科十四日發電】日本アルプス燒嶽は十三日午後七時半大音響と共に爆發噴火し火柱天に沖してゐる

ペンキ商と藝妓 ガス自殺す

今曉、大連西檢永樂で 男は妻子ある身で

妻子ある身であり乍ら藝妓の戀に溺れて春淺き西檢に十四日の曉方心中沙汰があつた、男は市內紀野町六〇船具ペンキ商渡邊林一（三〇）女は市內惠比須町一八六西檢永樂抱へ藝妓松榮こと安藤ハルコ（二〇）にて、三日程前より同家に流連して居つた渡邊は十三日夜松榮と共に活動寫眞見物に行き午後十時半ごろ永樂に歸宅後夜食をすませ午前一時半ごろ三階四疊の間に

兩人は 就寢したが、今朝十時半ごろ同家の仲居が三階掃除に赴いたところ瓦斯の臭氣が甚だしいので驚いて三階別室松の間を開放したところ四疊の間に就寢した筈の兩人が前記松の間八疊の部屋に床を移し瓦斯ストーヴ用の螺旋管を取り外して蒲團の中に引入れ兩人抱合つたまゝ蒲團を頭より被つて居るので大いに驚き、家人に知らせると共に各戶を開放し直ちに桐原醫師を招き應急手當を施したが、死後既に三、四時間を經過して居り遂に蘇生せず、小崗子署より猪股司法主任、立石刑事

檢視を 行つた渡邊方には妻ミネ（二〇）のほか四歲になる長女がある、遺書は別になく死の原因となるべきものは未だ判然せないが、松榮は本年一月十四日市內逢坂町三田尻樓より二ケ年前借千五百圓にて抱へられたもので、松榮とは三田尻樓以來の馴染で永樂に仕替後は足繁く通つて居つたと

大連神社月次祭

十五日の大連神社月次祭には氏子代參當番町山縣通區の氏子役員等參列のうへ午前十時より執行、當日は一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕し神酒供物を頒與すると

密閉作業中 ガスで即死

救命器を被つたまゝ

【撫順特電十四日發】十三日午後四時半、撫順炭礦大山南坑にて救命器を被り密閉作業中の職員竹本梅一は瓦斯中毒のため即死した、大正六年來の出來事である

一萬圓請求の 訴訟辯論

糟糠の妻を追出した 羽月商店主に絡る

貧苦を共にして今日の財を成した糟糠の妻を追ひ出し一萬圓慰藉料請求の訴訟を起されてゐた市內信濃町市場三〇鮮魚蒲鉾商羽月治郎兵衛にかゝる第一回口頭辯論は十四日午前十時大連地方法院で行山裁判長、小田、本間兩判官係りで開廷された、原告羽月キヨ（三七）の代理高橋（源）有川兩

辯護士は 原告は大正十三年被告治郎兵衛と結婚し、貧苦と戰ひつゝ今日の財を成し、ヤレヤレと安心したと思へば、被告は長男龜雄と共謀日夜キヨを虐待遂に本年二月初旬家を追ひ出したと訴訟事實に基き一定の申立をなし、被告が原告を虐待追放した事實を證明する爲め左の五名を證人申請し、何れも採用となつて閉廷した

市內西通二四番地宮崎勇太郎、信濃町一二七番地溝部正太郎、錦町八番地石原武次郎、同町藤本夫妻

なほ次回辯論は四月十八日開廷のはず

甘井子、大連間に 持燈浮標設置

五月一杯に完成

甘井子築港の落成も間近くなつたが、甘井子、大連間の船舶航路に持燈浮標を設け航行船舶の安全を圖る計畫はこの程日本光器會社との間に契約成立、石油棧橋沖に二個、中央に二個更に甘井子防波堤の突端、附近に一個宛計六個の浮標を設置する筈である、この光達距離は入口のものは九浬、中央は七浬、奧のものは九浬で右が赤燈左が白燈、奧のものは明滅燈として他は二尖光と一尖光にする事となつたが、これは滿鐵築港所において五月一杯までに工事を完成さすべく近く工事に着手する筈であると、尙この航路は幅百五十米突、水深九米突であると

撫順の白晝强盜 三名捕ふ

警官一名重傷

【撫順特電十四日發】本月三日午後三時ごろ驛前派出所假裏の商家に侵入し金品五百圓を强奪した犯人三名を十四日朝發見、大格鬪の末警官一名重傷を負ひたるも遂にこれを逮捕した

大內市議長女結婚

大連市會議員大內成美氏の長女不二子孃は今度木村通、森本鑾治郎兩氏夫妻の媒酌により飯澤兼十氏長男重一氏と婚約整ひ來る三月二十一日大連神社にて結婚式を擧げ、同日午後五時三十分より滿鐵社員俱樂部に於て披露宴を張ると

第一艦隊來！に

歡迎・拜觀の打合會

わが第一艦隊の艨艟の入港傳へらるゝや各方面においてこれが歡迎方法に忙殺されてゐるが、十三日午前十時より正午まで埠頭ビル二階會議室において軍艦拜觀に關する打合せが行はれた結果、大要左の如く決定を見た

一、拜觀日 四月四日より七日迄四日間とす

二、巡洋艦埠頭繫留の件

（イ）當方より依賴し巡洋艦一隻甲埠頭（十番及八番バース）に繫留のこと（四月三日より六日迄四日間）

（ロ）前記涌路は凡て東正門とす（西正門は構內使用者の通路に充つ）

三、港外碇泊軍艦拜觀に關する件

（イ）拜觀者整理方法左の通り（一）各學校團體拜觀者に對しては沿線各校へ本社學務課より打合せ日時竝に人員等の取計らひ方を依賴すること、州內各學校も同時に學務課と打合せすること（二）一般拜觀、一般拜觀には出入口にて觀覽券を交付す（拜觀者は全部東正門より出入のこととし期間中一般構內使用者の出入は正門のみとなすこと、觀覽券は一回の運搬人數より團體拜觀者を減じたるものを限度とし如何なる事情あるも右制限數以上に發行せざること、尙監視係詰所前より以西第二埠頭中央道路迄車馬の通行を禁止すること（水上署に諒解を求め適宜揭示をなすこと）

（ロ）拜觀者心得、團體拜觀者に對しては各機關を通じ一般拜觀者に對しては新聞紙上に揭載し又は拜觀者出入口に揭示し周知せしむる外送迎用艀內にも適當に揭示すること

（ハ）拜觀者の送迎（一）船舶係にて艀四隻及之に對する小蒸汽船の運用に關する計畫を立て當務者迄申出づること（第九區に專用ポンツーン二箇を準備すること（二）艀船の昇降甲埠頭第八區及第九區（三）埠頭出發時間午前九時、午前十一時、午後一時半の三回（四）團體拜觀者は成るべく第一便にて本艦に送ること

四、艦隊に關する件

（一）乘組員の上陸、歸艦並に軍樂隊及歸艦並に特種關係者の艦隊訪問等には海務局、水上署及埠頭の小蒸汽船を以て成る可く便宜を圖ること尙旅順駐在武官よりの依賴に依り艦隊交通用として甲埠頭九區にポンツーン一箇及第二〇區或は二一區開放のこと

（二）乘組員の埠頭見學の爲本館エレベーターの運轉に支障なからしむること（二臺を屋上直通とし午前八時より午後五時迄運轉のこと）

（三）乘組員休憩所、乘組員面會所及埠頭係員詰所（電話二箇据付のこと）等を設置すると

（四）主として學校團體及一般拜觀者辨當の爲に船客待合所內婦人待合室を解放し腰掛を用意し湯沸釜を準備すること

ドイツ醫學界は すばらしい進步

保險金が欲しいといふ病氣 岡東大醫科教授のお土產談

【ハルビン特電十三日發】東大醫科教授岡壽郎醫學博士はドイツ留學一ケ年、神經系統の學術を研究し四月、大阪で開かれる醫學大會に列席するため急ぎ歸國の途、十三日着哈したが語る

來年は世界的神經學の大家ノンネー博士がいよいよ渡日に決定し、奉天醫大で講演の後東京、福岡の大學を訪ふことになつてゐるが同博士は本年七十歲といふ高齡だ、ドイツの醫學界は設備に金を懸けてゐるので日本より進步してゐるも研究日が少ないので困つてゐる、レントゲンの研究は工場に立派な醫者がゐて進んだ研究を重ねてゐるがその結果として醫學者と共同で進行してゐるため日本の如く醫者は醫者、機械は機械といふ離れたところがない、日本のやうによい機械は外國から購入せねばならぬやうでは遺憾じあないかベルリン大學のホルフエヘル博士は矢張り、神經學者であるが多數の國民が保險金欲しさに病氣になるので、その診察を政府から同博士に命じたところ、同博士は國民が保險金欲しさに病氣に罹るのは、それ自體が既に病氣で災害神經管能症だから保險金は當然支拂ふべきであると診斷したので今更ながら政府も保險金支拂ひに困つてゐるといふ有樣だ

艶色生膽祕譚 (51)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

墮地獄 (一)

一休和尚さん
しやりからべさげて
門松ア冥途の一里塚

隼の長太は、うたゝねの眼をさました。

「チエッ、あいつまでが……」

窓には西陽がかつと燃えついてゐた。

二階を下りると茶の間には、如輪木理の火鉢に銅壺が光り、鐵の五德に龍文堂の鐵瓶が、チンくと音を澄ましてゐる。

三次は門の格子を洗ひながしてゐるらしく水音につれて、

野ざらしお仙は
しやりからべ殘す
懷用心
御用心

「莫迦野郎、よさねえか」

「へい！」

三次は首をすくめて臺所口へ廻る。

「ヘツ、うまくごまかしやアがつたな」

「おい三次」

「へい」

三次は裾をおろすと、茶の間の閾際へかしこまつた。

「もう日暮だつてのに無人ぢやアしかたがねえ、おめえ一本つけてくんねえ」

で、長太は、火鉢の前へ大あぐらをかいた。

湯呑でキユツとひつかける酒。晝寢起のだれきつた總身に、心持よく泌みわたつたが、ひどくいゝ機嫌に長太は唇をきる。

「お仙つて云やア何ンだな、あれつきり音沙汰なしぢやアねえか」

「人の噂も七十五日つてね親分」

「何よウいやアがる」

「對手がわるいや」

腹の底でから呟く。

「浪人者の仕業に違えございませんよ」

利いた風な三次の口吻が、長太の胸をチクリとさす。

「さうと判つてりやア云ふがもなアねえ、併し……」

重く云ひ返した長太またもやムツと腕をくんで考へこんだ。せつかくの酒も仕事のことゝなれば、味も香もなくなつてくるらしい。

と、街路から響いてくる怪しげな錫杖の音。

「惱める者は日光を求めよ
渴ける者は泉を訪へ
眠れる者は眼を覺せ
余は生佛の再來なり」

疾風の如く喚き去る大音聲。

長太はギヨツとして三次を睨みた。

「なンだ騷々しい」

が、三次は驚かない。

ヒツソリした。

長太はかつて大川へ追ひこんだ以來、全くその姿を大江戸の市中から見失つてしまつたお仙のことが、反つて氣になるのだつた。

「なにやアどうしたい？」

「あ、姐御ですかい、お詣りにお出かけでさア」

「なアに糶三の野郎よ」

苦笑にまぎらしたものゝ、まつたく三次が云ふ通り、お仙の噂は日毎に薄れゆく今日この頃だつた。

「その代り親分、血卍の奴等の增長つてもなア」

「ウン」

長太は急に唇をつぐみ、重苦げに考へこんだ。

清水二段宮武喜三太氏臨時手合 四子

清水德太郎氏　宮武喜三太氏

—【5】—

沿線各都市で 慰安浪曲會

今夕沙河口劇場に出演して

大和之丞一行の離連

浪曲愛好家から白熱的歡迎を受け旅大に於て絶大な好評を博した浪曲界の最高權威である吉田奈良丸改め大和之丞一門は今十四日夜一日限り村上演藝部の手にて沙河口劇場に出演し十五日の鞍山を振り出しに本社販賣所主催の讀者慰安浪曲大會を左記の日程により沿線各都市に於て開催することに決定した、會費は一般特等二圓五十錢一等二圓二等一圓二十錢を讀者優待券持參者に限り特等二圓一等一圓六十錢二等一圓に割引することになつてゐる

十五日(鞍山)▲十六日(營口)▲十八九日(奉天)▲二十日(撫順)▲廿一日(鐵嶺)▲廿二日(長春)▲廿三日(四平街)▲二十五日(開原)▲二十六日(本溪湖)▲二十八日(安東)

大橋座の レヴウ團

常盤座に出演

常盤座にては今月中旬に南榮子舞踊團を招聘する豫定であつたが都合で延期され、これに代つて大阪大橋座の專屬のレヴユウ團が來る廿二日より來演するとに決定した同レヴユウ團は野間正規氏を支配人兼監督として深山美子、山路あけみ、桃山好子、山田芳子澤町子、生島陽子のメンバーでその他音樂部及照明部數名が來連すると

高等音樂院 試演會

十六日に開催

大連高等音樂院にては第十一回試演會を來る十六日午後一時より協和會館に於て開催するが、プログラムは四十三番の多數でピアノ獨奏、獨唱、舞踊等である

摩天樓

大日活で今十四日より日活現代劇特作品「摩天樓愛慾篇」を上映の豫定であつたが、ばいかる丸の入港遲延で明十五日初日に延期された

噂話

今夜から協和會館に上映される「ノアの箱船」は映畫人が想像する以上にこんがらがつてゐるらしいが▲そのプリントが「デユープであるが、コツピイでない」と言ふのだそうなが、さて何の事やら▲常盤座の「ハンガリア狂想曲」は素晴らしい好評をなしてゐる「そんなに良いか」と聞けば▲モボ、モガ連中「舞踏會の夜の木蔭のシーンがその……ウフく」と嬰聲を洩らす▲何でも口元に證據歷然たるものがあると言ふのらしいが、御心配御無用「あれはリスリンのお化粧です」▲だからリスリンにもエス・エイがあると言ふものです……▲ゆふべ演藝館で阪妻と高木新平と生野初子の顏合せ映畫を試寫▲渴てゝはいけません、大阪フキルムの「侍甚七捕物帖」道理で生野が若々しく肥えてゐる

音曲漫談 (一)

常磐津操太夫

滿洲に於ける音曲界は一體どう云ふ樣子か、一寸行つて見學して來よう……と云ふやうな、極輕い氣持でやつて來た大連の地が、案外氣樂で住みよいし、皆樣は親切にして下さるし、ついうかくと長い月日を過してしまひました。まあ、うかくと云へばうかうかでせうが、矢張り、皆樣の熱心さについ引かされて歸るに歸れなくなつた……と云ふ方が本當でせう

で、其の御挨拶がてらつまらぬ思ひ出話をしやうと思ふのですが初め私が藝事に身を入れやうと考へたのが十代の頃で、元來私は藝事がすきだし、すぐの弟が勘ヱ門と名乘つて常磐津の家元、名人古式部の養子になつて居ましたし、其の樣な關係から常磐津を習ふと思つて親父に相談しました所がゆるしてくれません。いかんと云はれゝば、尙やりたいが人の常で、とうく家を飛び出して、其の當時伊井、河合等と肩をならべて居た壯士芝居高木蝶之助の一座に加はりました、此の人は高蝶々々と云はれた、相當有名な人で、其の弟子になつて私も一人前の役者に成るつもりでしたが、何しろ素人から飛び込んで舞臺に立つたのですからサア いけません。やる事なす事しくじりばかり、忘れもしませんが甲府の櫻座と云ふ小屋に掛つた時に私にフラれた役が巡査、ポツト出の私にしちや隨分大役でしたから、私としては一生懸命。サテ舞臺となり勢ひよく飛び出して見ると、見物がドツと笑ひ出しました。のぼせ上つたものゝよく氣を附けて見るといけませんや、制服制帽にサーベルつツた所までは立派なお巡りさんですが、靴をはくのを忘れて、樂屋ばきの草履で飛び出したと云ふわけです。これじや笑はれるのが當り前。が、まあ田舍のお巡りだ、草履やわらじは朝飯前と、ヤケにくそ度胸をつけてドンチヤン、バラくの大立廻りをはじめ、いよく幕切れで又失敗、自分がつツて居たサーベルで横ツ腹をいやと云ふ程つき上げたのでお巡りさん、ウーンと氣絶してしまつたと云ふわけ、これじや芝居になりません。

又ある時「法廷の血煙」ツて芝居を打つた時の事ですが、其の筋は女の惡が裁判長、判檢事の居ならぶ前に引出されて來る。所が其の女は裁判長の妹であつたので、改心した女はピストル自殺をすると云ふ筋でしたが、何にしろ昔の小道具です、其の拳銃が又大古物で、打てばピユーと火の飛ぶやつです、いよく自殺となり「ゆるして下さい」と叫びつゝ拳銃を取り出したまではよかつたが、引金が女の髮にひつ掛つたからたまりません、ズドーンと一發、そいつがまともに私の顏に來て、顏一面の大やけど、つくづく親の罰だなあ……と思ひましたよ。

ラヂオ

大連 JQAK

(三月十五日自午後七時)

◇義太夫「朝顏日記宿屋の段」太夫福田白鳳、三味線竹本佐太夫
◇筑前琵琶「重松中尉」泆洸山上地旭靜
◇清元「青海波」立唄作野夫人、唄植木、三味線清元壽美子
◇脚本朗讀「名優」田代賛二
◇支那唱「法場換子」唱劉月紅、師付楊樹亭

東京 JOAK

(十五日自午後六時廿五分)

◇講演「地震帶の活動と移動の地震に就て」國富信一
◇哥澤 (一)花も實(二)夜の雨唄哥澤芝八榮、三味線同芝若
◇箏曲「青柳」三絃木谷壽惠子、箏高橋文子、尺八納富壽堂
◇荻江節(一)梅(二)金屋丹前唄荻江鈴子、三味線同章子
◇和洋合奏(一)夜の灯影(二)神田情調(三)元祿花見踊、日活オーケストラ、指揮田中豐明

夕刊
滿洲日報
三月十四日

露支正式會議は結局無期延期となる形勢

勞農は現狀に滿足して急がず 莫支那全權も赴露の意思なし

【ハルビン特電十三日發】露支正式會議は南京政府の聲明に對し勞農政府は反對し結局無期延期となる形勢で、勞農は既に東支鐵道に對して滿足なる結果を得、思ふ存分の仕事をしてゐるので正式會議は問題にして居らない、支那側もまた會議を開いても何ら利する點なきを豫見し莫全權もモスクワに向ふ意思は無いと

補助艦は三國間で制限

その他は五國間に最後的協定 歐洲組不調と我對策

【ロンドン十三日發電】補助艦保有量問題につきては英、佛、伊の歐洲組間の交渉はいよ〳〵決裂せんとし、英は主催國として之を避けんため最後の努力をしてゐるが佛の自主的七十二萬噸の保有要求は伊の對佛要求に讓歩の餘地一歩もなきこと明かとなり、英の最後的努力も水泡に歸せんとしつゝあり、斯くして歐洲組の協定は不調に終つた、而して英、米は其對內的政策の立場上同等かの成果を得る必要に迫られ居る關係上一九二七年のジュネーヴ會議の如く日、英、米三國名義になる戰取であるが、日本としては軍縮の精神から飽くまで世界大海軍國たる五ケ國の軍縮を主張し、補助艦保有量の協定が不可能ならば

一、割合に協定可能の見込みある主力艦代換建造延期
二、一萬噸以下の航空母艦を制限艦種に包含すること

而して今までの會議に於て大體意見の一致を見た

一、制限外艦艇
一、制限法規中の艦種別問題
一、特殊艦艇の問題

等を五國間の最後的協定として決定し置き、補助艦問題は日、英、米三國間に限り保有量を制限すべく若槻全權は今後注目すべき努力を拂ふものと豫想されてゐる

齋藤總督、仙石總裁送別會

拓相官邸に各閣僚が集まつて

齋藤朝鮮總督、仙石滿鐵總裁は政局も一段落ついたのでそれ〴〵近く歸任の途に上ることになつたが、兩氏と最も關係の深い松田拓相が主催となり、兩氏の慰勞兼送別會を去る七日夜拓相官邸に開催した、幣原外相を除く外濱口首相以下各閣僚出席、我黨の春を謳歌する所あつた、【寫眞は前列向つて右より、俵商相、齋藤朝鮮總督、仙石滿鐵總裁、濱口首相、町田農相、江木鐵相、小泉遞相、後列右より田中文相、宇垣陸相、松田拓相、小村拓務次官、小坂拓務政務次官】

若槻全權は文官の大將

アメリカで激賞

【ロンドン十三日發電】若槻全權は今や我全權部内では勿論各國全權中でも押しも押されもしない海軍通の第一人者とされ複雜な各種の數字專門的事項に對する理解力と精通振りは驚くばかりで殊に其交渉振りに至つては無類の强腰でねばりの點では相手方は深甚の敬意を表して居りアメリカなどでは氏を文官の海軍大將だと稱してゐると

米國は日本に對し總括的七割承認か

依然わが主張と隔る

【ロンドン十三日發電】日米交渉は相當接近した程度迄進んで來た即ち十二日若槻スチムソン兩氏會見に於いてアメリカは總括的七割に近きものを承認する迄になつて來たが內容に至つては到底日本の滿足するところならず、此意味に於て日米間の意見はなほ依然として多大の間隔を有してゐると云ふべく恰も此時英、佛交渉が停頓狀態を呈して來たことは當然日米交渉の進展にも影響すべくかた〴〵局面展開にはなほ相當の時日を要すべしと信ぜられてゐる

米全權側は樂觀

但し上院の批准困難

【ロンドン十三日發電】アメリカ側の信ずべき筋の情報によれば米全權方面では日本の七割主張による兩國の主張相違點は今や殆ど事實上の解決を見る一階梯迄到達したと信じて居るが右アメリカ側の解釋は上院の批准を得るに困難を免れざるべし言はれてゐる

朝鮮の自治擴張

昭和倶樂部議員に對して 齋藤總督事情を說明

【東京十四日發電】先般決定せる朝鮮地方自治に關し齋藤總督の意嚮を聽取すべく貴族院昭和倶樂部では十三日午後二時より昭和會館に所屬會派全員の會合を開き先づ齋藤總督より過般勃發せる學生騷擾事件の原因其後の經過とを簡單に報告したる後朝鮮地方自治制度改正に關し詳細に說明をなし質問に入り

阪本釤之助氏 學生暴動の結果自治權を擴張せりと考へられはせぬか

齋藤總督 自治權の擴張と學生事件とは何等關係なし

阪本氏 學生暴動の後を受けて自治權を擴張せるは人心に迎合する如く考へられ今後進んで參政權要求の動機になりはせぬか

總督 左樣な事態を馴致するかも知れぬが今回は適當と認むる範圍で擴張するので今後の事は兎や角云はれぬ方が宜い

大津淳一郎氏 自治權と兵役義務とは關係ある樣に思ふが徵兵制實施に就いては總督は之を考慮された事があるか

總督 議論は種々あるべきも實際上制度實施までは相當期日と調査研究を要すべく尙早と思ふ

藤村義朗男 自治權の擴張は結構であるが實績を擧げるには運用上の困難あり內地の自治制に於いても經濟的基礎を困却した結果今日では徒らに地方費の膨脹を來し居れり、其實例より見る時は朝鮮も自治權擴充の結果必らず財政的窮乏を招來しはせぬか

總督 御懸念は素よりなるが大地主と小作人との關係を圓滑ならしむべく低資融通等にて着々實効を擧げつゝある外副業を勸め一般產業開發に努めてゐるから地方經濟も相當發展する事と思ふ

石渡敏一氏 總督府は今回を機會に財政的獨立を考慮せざりしや

總督 現下の狀態では財政的獨立は困難であるが產業の獎勵、財政整理は益々目的達成に努力するであらう

之にて質問を終り五時散會した

治廢交渉は困難

日本は依然漸進主義を强調し 支那は即時撤廢主張

【東京十四日發電】日支關稅協定の內容は大體既報の通りであるが、協定中の第一項目として日支兩國は該協定に次ぐべき全般的條約の改訂交渉に着手する事となつてゐるので、重光代理公使は王部長と會見引續き交渉打合せを爲すこと〻なつて居る、交渉開始の上は從來の行掛上恐らく治外法權の撤廢から始めらる〻ものと信ぜらる〻が支那側は即時撤廢を主張すべく日本側は既定方針たる漸次撤廢と云ふ主張を爲すべく双方の主張に相當の隔りあること例の如くなれば前途の困難は豫期せざるを得ぬとされて居る

關稅協約正式調印期

【上海十三日發電】幣竹商務參事官は昨日假調印された日支關稅協定書類を携へ今朝上海に引返へしたが、十四日出帆の長崎丸で歸朝すること〻なつた、支那側が正式調印を急いでゐるので政府は直に右總の樞府御諮詢を奏請すべく遲くも四月初め迄に正式調印となるものと信ぜらる

勅選補充の方針

江口、土方、片岡三氏が有力 元田翁問題とならず

【東京十四日發電】特別議會を控へて政府は勅選議員七名の補缺を考慮し始めたが、濱口首相の許には既に閣僚又は黨內有力者を通じて自薦他薦の候補者多數を列べてゐるが、政府としては黨內關係及び現內閣の功勞者と云ふ銓衡方針以外に來る特別議會は義務教育費國庫負擔問題、糸價補償問題等を難物と見てゐるので、此方面の闘士をも考慮して選定し度い希望から濱口首相は此等の點につき留意して人物を物色してゐるが、結局缺員七名中三名位を選び四名の餘裕を殘して置くものと見られてゐる、尙奏請期は多分四月初めになる筈で候補者中閣內及び黨內に於いて異論少く最も有力とされてゐるのは三菱の江口定條、日銀總裁土方久徵、與黨の片岡直溫三氏であるが政友會の元田肇老をも考慮されたいと申し込んだ者もあつたが今は問題となつてゐない

決戰に敗北せば保境安民に還る

太原軍事會議で決定

【北平十三日發電】探聞するところに依れば太原軍事會議の結果主戰派は文人派を完全に抑へ中央軍に對抗することになつた模樣であるが、其具體的辦法として閻錫山氏の斷乎たる決心を促し、太原或は北平に北方臨時政府を立て雜軍を糾合すると共に北方軍閥の團結を圖り、閻錫山氏は石家莊までなりとも出馬して反蔣各軍の指揮を鼓吹して蔣介石氏と雌雄を決すべく若し之に失敗した場合は昔の山西モンロー主義に戻る肚にて軍備は依然進められてゐるやうで、閻錫山氏の外遊に關しては當地山西要人が口を揃へて之れを否認してゐる

中央軍の總指揮

【北平十三日發電】鄭州來電に依れば蔣介石氏は六日附にて左の如く北伐軍各路總指揮を任命した

△第三路前敵總指揮　韓復榘
劉春榮、孫魁元の二軍之に屬し第二十師、二十九師は開封より黃河を渡り道口附近に集中
△平漢線方面總指揮　石友三
第十師、二十四師之に屬し即日平漢線河北省境に集中
△津浦線方面總指揮　馬鴻逵
同　[illegible]
△第一路警備隊總指揮　[illegible]

明年度實行豫算

十六億三、四百萬圓 來る二十日頃閣議で決定

【東京十四日發電】明年度實行豫算は歲入豫算見積り替へのため査定が遲延し目下大藏省主計局と各省當局との間に新規事業の再削減を折衝中であるが、關稅其他租稅官業收入に於て千五百萬圓の自然減は豫算編成方針に非常なる變更を餘儀なくせしめ緊急避くべからざる新規事業及び金解禁善後施設としての重要政策に屬するもの〻外一切削除削減すること〻なり二三日中に略決定の見込みであるが實行豫算は十五億六千五百萬圓、追加豫算は解禁善後施設費、災害復舊費、支那駐屯經費等の新規費目を加へて三千八百萬圓に止まり明年度豫算總額は十六億三四百萬圓程度と見られてゐる、而して豫算閣議に於て最後の決定を見るのは二十日過ぎであらうと

政友會幹部會

【東京十四日發電】政友會定例幹部會は十三日午後一時より本部に開會し島田、宮古各總務、森幹事長以下各部長等出席あり群馬縣一區より選出の中島知久平氏が正式に入黨せる旨報告し議員總會開催の件につき懇談する處あり未だ選擧の後始末もつかぬ今日取急ぎ總會を開く程の問題もないから時機を見て開催すると言ふ事に決し現下の時局、財界諸問題につき意見を交換した

圖書館長會議

△第二總豫備隊總指揮王金鈺

【東京十四日發電】文部省では圖書館の普及發達を圖るべく十三、四兩日全國道府縣私立圖書館長會議を開く事となり十三日は午前十時より開催全國より三十餘名出席し本省からは文相以下出席あり文相より一場の訓示あり諮問事項につき協議し特別委員をして答申案を作製せしむる事とし意見交換を行つた

山口縣議視察團

十五日入港のばいかる丸にて大連十七日まで大連及び旅順を視察の上奥地に向ふ由、尙同縣にては今夏當地に見本市開催の計畫あり今回の視察は之が下調査の爲めである一行の氏名は

縣會議員　藤山康一、山根鐵藏、中野治介、末永嘉七、山賀州介の五氏農務課長岡本事務官

又當地大連防長會にては十五日午後六時より連鎖商店街扶桑仙館に於て歡迎會を催すと

不服從同盟隊が警官隊と衝突す

ボンベー市內各所で

【ボンベイ十三日發電】不服從同盟の同盟罷業員は當地の各所で警官隊と衝突し多數の負傷者を出し罷業團員五名は逮捕され罷業員五十名は鐵道線路に橫たはつて列車の運行を妨害した

ガ氏一行示威行脚

【ボムベイ十三日發電】十二日いよ〳〵對英不服從示威行脚の第一歩を踏出しアシュラムよりアスラリムラに到着したガンヂー氏並に其麾下の第一義勇隊の一行は今朝七哩距れた次の地點へ向つて出發したが、沿道には見送りの人出無く歡呼を送る者もなかつた

資金乏しく

運動自然消滅か

【ボンベー十二日發電】ガンヂー氏の率ゆる不服從同盟の一隊は第一日目の目的地たるアスラリー ノ村に到着したがガ氏は玆でも參集した村民達に納稅が廢されぬ內はアスラムに歸らぬと述べたアスラムからこのガ氏の芝居がかつた出發の光景を見物しやうとついて來た人達もアーメダバットに來て止むなく仕事をして居るが、ガ氏今度の運動に對しては一般インド人は之を支持せんとするも資金に乏しい樣であるから政府が壓迫しないでも大した事とならず自然消滅するものと觀られて居る

人事

▲渡邊中氏（陸軍一等獸醫正）加藤延夫氏（陸軍一等獸醫）東京に榮轉二十二日發赴任すべく十四日各所挨拶

▲高橋富十郎氏（遞信書記兼簡保局書記）四月四日から六日間東京に於て開催の遞信省簡易保險課長會議へ出席

大觀小觀

大洋組、やゝ進展の模樣あるも歐洲組、依然として硬化。

◇

若槻全權、千兩役者として全艦中に光る。

◇

これ日本の主張の公明正大なるがためなり。

◇

ただ米國が七割を認め內容に兎や角は不審。

◇

佛の硬化、而して伊佛の間に英の介在、察するに餘りあり。

◇

閻錫山、山西で硬化。ぬらりくらりの背水の陣を布く。

◇

併し現ナマの小出しは成功せるものと知るべし。

◇

洞ケ峠は禁物。首鼠兩端を持せば身首を異にせん。

天氣豫報

十五日（北西の風）曇後晴

暴風警報　風强かるべし十四日午後一時南滿洲附近一帶の警戒を要す

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	七、六	零下〇、二
旅順	八、七	零下〇、七
奉天	一、八	零下〇、二
營口	六、九	零下二、〇
長春	三、三	同 〇、五

走馬燈

東四省（其五）

荻川

日支關稅協定の假調印が終つたと云ふ、其內容を知り能はぬから、輕々敷これに批判を下す譯にはゆかぬが、兎に角も此關稅問題が解決されたは、日支兩國の爲め喜ぶべきことである、傳ふるところによれば、次の交渉は治外法權撤廢問題とか、兩國の通商航海條約の改訂は、斯くして其一章毎に片附けるのださうで、これも條約の實行に無駄がなくて好い、而も一章なりともに、相互の妥協を見出す、他も此精神に立てば、全章はすら〳〵と纏まらん。

◇

由來此條約改正が改訂の期に入りながら、其改訂の出來ざりしは、支那政情の不安定にもよるべけれど、他方には、過ぎし北京の列國關稅會議に於て、日本が諄々として支那の爲に說いた意義が、支那爲政當局に通じなかつたに基くとも考へらる、然るにこゝに其協定が成り立つたとあらば、這次の協定締結者たる南京國民政府筋には、此了解ありと思はねばならぬ、協定締結も喜ばしきことだが、日本としては、それよりも其了解が最も嬉しく感ずる。

◇

苟くも支那の政治に携はらんほどのものは、此際あらたまつて列國關稅會議で日本が述べた信念を、記錄によつてよく讀んで貰ひたい、そうして篤とそれに會得がいつてこそ、今度の協定も生きて來る、東四省でも、隨分と是迄に關稅から、彼我の間に紛糾を起したが、もうそれはあるまい、況んや支那關稅に對する日本の眞劍なる態度が讀めたら、本協定の尊重なぞ、最格に行はるべしと信ずる、斯くては此精神を他の條約にも適用したい、條約の尊重、それが國交親善の基礎である。

◇

忌憚なく云ふと、日本からせば過去のことなるが東四省官憲には、此條約尊重の心が乏しかつたと云ひたい、それで色んな悶着も起きたが、讀者そこに善き芽が出てかにも感ぜられ、此時此際這次の關稅協定あり、更に續いて支那側の熱望する治廢交渉にも、列國に先んじ、相互で目鼻をつけ得るが如き傾向を觀る、東四省官憲も正に此氣運に乘るべし、そうしての日支親善はどうか、尤も外交は南京のものだが、此外交を基礎に成立つ滿洲に於ける日支の關係にも現在の氣運を必要とし、日本には素より此覺悟ありじや。

鎭海慘事弔慰義捐金募集

締切　昭和五年三月二十日正午迄
受付　大連市役所庶務係
義捐　一口金拾錢也以上

但し應募者氏名を大連、滿日兩紙上に掲載し受領書に代ふ、募集金額の處置は大連市長に一任す

昭和五年三月

大連市役所
大連新聞社
滿洲日報社

無登記の土地は ドシ〳〵回收出來る
關東州内地主に恐慌時代が來た 下された新判決例

無償で典地回贖が出來るといふ新判決例が大連地方法院森本裁判長によつて下され、關東州内の地主(典主)に恐慌時代を招來してゐる——訴訟の内容は普蘭店平安街會一三五番地本間選が管内土城子會濫延芳を相手取つて起したもので原告の(代理古賀辯護士)主張は普蘭店大城子會大城子屯の一、四一七番外四典地(質權)をその所有者許外與世全から昭和三年七月原告が買ひ受けたが、この土地は被告等がかつて與世全から典得した土地で

移轉登記 をなすことも出來ずいろ〳〵調べて見ると被告等は大正十三年八月一日關東州内の支那人間にも民法が施行され、同日から一ヶ年内に典得(即ち質權)の登記をせねば典主たる權利を生ぜず、第三者に對抗することが出來ぬと民法施行法によつて明文されてゐるに拘はらず、今日に至るも登記の手續きをしてをらぬから典得者たる權利がない、故に代償を出して典地としてをつても原告は無償で被告の土地引渡しを要求するといふにあるが、これに對し被告代理人立川辯護士は被告等の典地たることは民政署土地臺帳に登錄されてをり、土地臺帳は登記濟と見做すといふ規定あれば

登記濟も 同樣であると抗辯したが、森本裁判長は民法施行の大正十三年八月一日より一年内に登記するにあらざれば第三者に對抗するを得ず、故に被告は本訴の土地につき不動產質權と見做さるゝ典權を有するものといへど所謂權利の上に眠りて其の法定の期間内に登記を爲さず、以て原告に對しその權利を對抗することが出來ぬ、また土地臺帳は登記簿と見做すべき筋合にあらず との理由で原告の勝訴に歸した譯である、判決の結果無償で典地回贖が出來るとなれば關東州内の土地の

過半數は 無登記である爲め、訴訟を起してドシ〳〵回收するものが續出すべく、州内の地主に取り死活問題として成行きを注目されてゐる

無電で自由に タンクを操縱
長山少佐苦心の研究 四年振りに報いらる

【東京十四日發電】ラジオを利用してタンクを操縱する實驗は十三日降雨中に拘らず小石川の砲兵工廠構内にて行はれた、長さ三間位のタンクには車上に小さな穴が附されて居り、これを長山少佐が無電送電操縱機にて動かすのであるが、少佐の意の儘にタンクは前進後退、機關銃發射等十六種の動作を現はし非常な好成績を收めた、どうして動かすかといふ細い點は秘密に附されて居るので判明せぬが、十六種の鍵にて操る無電はタンクに裝置されてある同樣十六種の鍵に感じこれに依り操縱さるゝもので少佐は之が操縱完成には四年を費したと

丁抹皇儲殿下
南京政府御訪問遊さる
丁支親善の歡迎會開かる

【南京十三日發電】一昨夕上海に投錨したデンマーク皇太子殿下御一行御乘船のフクオニヤ號は、夜來の雨からりと晴れた今朝九時悠揚たる長江の濁流をけつて支那率迎艦の先導により在泊各國軍艦の殷々たる皇禮砲裡に遡航したが純白の船體には旭光輝き檣頭高く皇太子旗は飜へつた、斯くて列國軍艦滿艦飾裡に下關海軍埠頭沖合に投錨し

御一行 は午前十一時上陸午後二時國民政府を御訪問、蔣介石夫妻、五院々長各夫妻、各部長夫妻等は何れも玄關に御一行を御出迎へ申し上げ大禮堂でシャンパンを拔いて丁支親善の歡迎會が開かれた、殿下の御一行は午後三時四十分フイオニア號に御歸還あらせられたが、次で同艦上にレセプションが開かれ蔣介石以下國民政府要人領事團其の他が御招待を受けた

陸軍記念祝賀會に 親臨の聖上陛下

日露大戰滿二十五周年に當る三月十日の陸軍記念日は全國的に有意義に記念すべく樣々な催し物があつたが陸軍では既報の如く午前十時より戸山學校に聖上陛下の親臨を仰ぎ盛大なる記念祝賀會が行はれた【寫眞は行幸の聖上陛下】

神明高女 卒業式
けふ擧行さる

大連神明高等女學校第十五回卒業式は十四日午前十時より來賓として關東長官代理長尾視學官、田中市長、富田民政署庶務課長、大連公議會長張本政氏、小崗子公議會劉樹堂氏及び各中等學校長を初め生徒保護者等多數列席の下に擧行卒業證書賞狀の授與終つて石川校長の懇切な訓辭あり、次いで關東長官訓辭(長尾視學官代讀)田中市長、張本政氏、劉樹堂氏の各來賓祝辭、伊藤砂子孃の在校生總代送辭、持原順子孃の卒業生總代答辭あり、最後に高田友吉氏卒業生保護者總代として一場の挨拶を述べ、同十一時五十分式を終つた、本年校門を巣立つた榮ある卒業生は五年五十三名、四年百七十一名でそのうち優等、皆勤者は左の如くである

▲優等生(五年)神成滿洲子、濱田春枝、持原順子、矢代エイ、米岡滿沙(四年)有川アヤ、各務正子、木下ハツエ、北里泰子、久保壽、小杉すゑ、砂原カノエ、高田マス子、田中菊枝、栃内幸子、中島澄子、林靜、濱本美代子、藤谷君子、元木彌生子、矢野周子、吉本俊子▲五年皆勤丸山マサ▲四年皆勤五十嵐フミ、村田トシコ

鎭海小學校に 弔慰電
滿鐵の小學校職員兒童一同が

既報朝鮮鎭海小學校の遭難事件に對して滿鐵學務課では十四日滿鐵設立小學校職員兒童一同の名をもつて、鎭海面氣附で遭難兒童遺族一同宛に左の如き弔慰電報を發し深厚なる弔意を表した

お友達の多くの方が不慮の災禍に遭はれましたとのこと、皆樣の御悲しみの程察し上げます、謹みてお悔み申上ます

子供デーの入場料を弔慰金に

常盤座にては來る十六日に開催する恒例日曜日の子供デーの入場料總額を鎭海慘事の弔慰金として贈ることになつた

邦人專門の 竊盜捕ふ
市内各所で

十三日午後八時ごろ市内千代田町を徘徊中の擧動不審の支那人を大連署刑事が逮捕取調べると住所不定王好善(二七)といひ、昨年二月二十六日市内龍田町十三番地、横川秒方裏口より忍び入り手提金庫を竊取、現金四十一圓十八錢を拔き取り金庫を山中に放棄したのを手初めに、山縣通一九四番地伊藤清三郎方、淡路町三三番地山下シゲ方、聖德街一丁目廣谷外次郎方、同街三丁目江東三郎方、同原不知雄方、須磨町二二番地高野貞一方久方町八番地揚井英一方等で日本人を專門に現金其他六百四十五圓の竊盜を働いた旨自白した

ばいかる丸
まる一日延着

南朝鮮木浦沖の暴風雨のため所安島に假泊を餘儀なくされた十四日入港豫定の定期船ばいかる丸は十四日當地大阪商船支店への入電によれば、同日午前六時所安島を拔錨大連に向つたが、大連入港は十五日午前八時半前後となり、入港と共に全馬力をかけて荷役を完了十六日午前十一時半出帆する事になつたと

湯上り女を覘ふ 痴漢、各所に出沒
ゆふべ山縣通で又一人襲はる

最近市内各所に出沒し、女と見れば躍りかゝつて怪しげな行爲をする痴漢があり、こゝ一週間内に被害者十數名に及ぶといふ有樣で、スッカリ婦人に取つて夜の大連を恐怖の街にして了つた——この痴漢は二十七八歲の細面で、中折帽にマントを着し宵闇迫る頃から何處ともなく現はれ、市内各所の女湯をのぞいては怪しからぬ行爲をなし、或は湯歸りの女と見れば尾行し、躍りかゝるといふ物騷な男で、大連署では痴漢取押へに血眼になつてゐる、十三日午後九時ごろも市内山縣通り「みやこ湯」から出て來た彌生町本村キヨ(二五)假名——の背後から猥褻行爲をなし大聲を揚げられ逃走した事件がある、被害者は何れも名譽を重んじて屆け出でないが、被害數はなほ多數に上る見込みで警察の嚴重取締を叫ぶ聲が各方面に起つてゐる

日本アルプス 燒嶽爆發

【長野縣豐科十四日發電】日本アルプス燒嶽は十三日午後七時半大音響と共に爆發噴火し火柱天に沖してゐる

ペンキ商と藝妓 ガス自殺す
今曉、大連西檢永樂で 男は妻子ある身で

妻子ある身であり乍ら藝妓の愛慾に溺れて春淺き西檢に十四日の曉方心中沙汰があつた、男は市内裾野町六〇船具ペンキ商渡邊林一(三)女は市内惠比須町一八六西檢永樂抱へ藝妓松榮こと安藤ハルコ(二)にて、三日程前より同家に流連して居つた渡邊は十三日夜松榮と共に活動寫眞見物に行き午後十時半ごろ永樂に歸宅後夜食をすませ午前一時半ごろ三階蘭の間に

兩人は 就寢したが、今朝十時半ごろ同家の仲居が三階掃除に赴いたところ瓦斯の臭氣が甚だしいので驚いて三階別室松の間を開放しそところ蘭の間に就寢した筈の兩人が前記松の間八疊の部屋に床を移し瓦斯ストーヴ用の螺旋管を取り外して蒲團の中に引入れ兩人抱合つたまゝ蒲團を頭より被つて居るので大いに驚き、家人に知らせると共に各戸を開放し直ちに桐原醫師を招き應急手當を施したが、死後既に三、四時間を經過して居り遂に蘇生せず、小崗子署より猪股司法主任、立石刑事

檢視を 行つた渡邊方には妻ミネ(三〇)のほか四歲になる長女がある、遺書は別になく死の原因となるべきものは未だ判然せないが、松榮は本年一月十四日市内逢坂町三田尻樓より二ヶ年前借千五百圓にて抱へられたもので、松榮とは三田尻樓以來の馴染で永樂に仕替後は足繁く通つて居つたと

大連神社月次祭

十五日の大連神社月次祭には氏子代參當番町山縣通區の氏子役員等參列のうへ午前十時より執行、當日は一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕し神酒供物を頒與すると

密閉作業中 ガスで即死
救命器を被つたまゝ

【撫順特電十四日發】十三日午後四時半、撫順炭礦大山南坑にて救命器を被り密閉作業中の職員竹本梅一は瓦斯中毒のため即死した、大正六年來の出來事である

一萬圓請求の 訴訟辯論
羽月商店主に絡る 糟糠の妻を追出した

貧苦を共にして今日の財を成した糟糠の妻を追ひ出し一萬圓慰藉料請求の訴訟を起されてゐた市内信濃町市場三〇鮮魚蒲鉾商羽月治郎兵衛にかゝる第一回口頭辯論は十四日午前十時大連地方法院で行山裁判長、小田、本間兩判官係りで開廷された、原告羽月キヨ(三七)の代理高橋(源)有川兩

辯護士は 原告は大正十三年被告治郎兵衛と結婚し、貧苦と戰ひつゝ今日の財を成し、ヤレ〳〵と安心したと思へば、被告は長男龜雄と共謀日夜キヨを虐待遂に本年二月初旬家を追ひ出したと訴訟事實に基き一定の申立をなし、被告が原告を虐待追放した事實を證明する爲め左の五名を證人申請し、何れも採用となつて閉廷した

市内西通二四番地宮崎勇太郎、信濃町一二七番地溝部正太郎、錦町八番地石原武次郎、同町藤本夫妻

なほ次回辯論は四月十八日開廷のはず

甘井子、大連間に 持燈浮標設置
五月一杯に完成

甘井子築港の落成も間近くなつたが、甘井子、大連間の船舶航路に持燈浮標を設け航行船舶の安全を圖る計畫はこの程日本光器會社との間に契約成立、石油棧橋沖に二個、中央に二個更に甘井子防波堤の突端附近に一個宛計六個の浮標を設置する筈である、この光達距離は入口のものは九浬、中央は七浬、奧のものは九浬で右が赤燈左が白燈、奧のものは明滅燈とし他は二尖光と一尖光にする事となつたが、これは滿鐵築港所において五月一杯までに工事を完成さすべく近く工事に着手する筈であると、尚この航路は幅百五十米突、水深九米突であると

撫順の白晝強盜 三名捕ふ
警官一名重傷

【撫順特電十四日發】本月三日午後三時ごろ驛前派出所眞裏の商家に侵入し金品五百圓を强奪した犯人三名を十四日朝發見、大格鬪のする警官一名重傷を負ひたるも遂にこれを逮捕した

大内市議長女結婚

大連市會議員大内成美氏の長女不二子孃は今度木村通、森本豐治郎兩氏夫妻の媒酌により飯澤乘十氏長男重一氏と婚約整ひ來る三月二十一日大連神社に於て結婚式を擧げ、同日午後五時三十分より滿鐵社員俱樂部に於て披露宴を張ると

ドイツ醫學界は すばらしい進歩
保險金が欲しいといふも病氣
岡東大醫科教授のお土產談

【ハルビン特電十三日發】東大醫科教授岡壽郎醫學博士はドイツ留學一ヶ年、神經系統の學術を研究し四月、大阪で開かれる醫學大會に列席するため急ぎ歸國の途、十三日着哈したが語る

來年は世界的神經學の大家ノンネー博士がいよ〳〵渡日に決定し、奉天醫大で講演の後東京、福岡の大學を訪ふことになつてゐるが同博士は本年七十歲といふ高齡だ、ドイツの醫學界は設備に金を懸けてゐるので日本より進歩してゐるも研究日が少ないので困つてゐる、レントゲンの研究は工場に立派な醫者がゐて進んだ研究を重ねてゐるがその結果として醫學者と共同で進行してゐるため日本の如く醫者は醫者、機械は機械といふ離れたところがない、日本のやうによい機械は外國から購入せねばならぬやうでは遺憾じあないかベルリン大學のホルフエヘル博士は矢張り、神經學者であるが多數の國民が保險金欲しさに病氣になるので、その診察を政府から同博士に命じたところ、同博士は國民が保險金欲しさに病氣に罹るのは、それ自體が既に病氣で災害神經管能症たから保險金は當然支拂ふべきであると診斷したので今更ながら政府も保險金支拂ひに困つてゐるといふ有樣だ

第一艦隊來!に
歡迎・拜觀の打合會

わが第一艦隊の艦艇の入港傳へらるるや各方面においてこれが歡迎方法に忙殺されてゐるが、十三日午前十時より正午まで埠頭ビル二階會議室において軍艦拜觀に關する打合せが行はれた結果、大要左の如く決定を見た

一、拜觀日 四月四日より七日迄四日間とす

二、巡洋艦埠頭繫留の件 (イ)當方より依賴し巡洋艦一隻甲埠頭(十番及八番バース)に繫留のこと(四月三日より六日迄四日間) (ロ)前記通路は凡て東正門とす(西正門は構内使用者の通路に充つ)

三、港外碇泊軍艦拜觀に關する件 (イ)拜觀者整理方法左の通り(一)各學校團體拜觀者に對しては沿線各校へ本社學務課と打合せ日時並に人員等の取計らひ方を依賴すること、州内各學校も同時に學務課と打合せすること(二)一般拜觀、一般拜觀には出入口にて觀覽券を交付す(拜觀者は全部東正門より出入のこととし期間中一般構内使用者の出入は正門のみとなすこと、觀覽券は一回の運搬人數より團體拜觀者を減じたるものを限度とし如何なる事情あるも右制限數以上に發行せざること、尙監視係詰所前より以西第二埠頭中央道路迄車馬の通行を禁止すること(水上署に諒解を求め適宜掲示をなすこと) (ロ)拜觀者心得、團體拜觀者に對しては各機關を通じ一般拜觀者に對しては新聞紙上に掲載し又は拜觀者出入口に掲示し周知せしむる外送迎用艀内にも適當に掲示すること (ハ)拜觀者の送迎(一)船舶係にて艀四隻及之に對する小蒸汽船の運用に關する計畫を立て當務者迄申出づること(第九區に專用ポンツーン二箇を準備すること(二)艀船の昇降甲埠頭第八區及第九區(三)埠頭出發時間午前九時、午前十一時、午後一時半の三回(四)團體拜觀者は成るべく第一便にて本艦に送ること

四、艦隊に關する件 (一)乘組員の上陸、歸艦並に軍樂隊及歸艦並に特種關係者の艦隊訪問等には海務局、水上署及埠頭の小蒸汽船を以て成る可く便宜を圖ること尙旅順駐在武官よりの依賴に依り艦隊交通用として甲埠頭九區にポンツーン一箇及第二〇區或は二一區開放のこと (二)乘組員の埠頭見學の爲本館エレベーターの運轉に支障なからしむること(二臺を屋上直通とし午前八時より午後五時迄運轉のこと) (三)乘組員休憩所、乘組員面會所及埠頭係員詰所(電話二箇据付のこと)等を設置すること (四)主として學校團體及一般拜觀者辨當の爲に船客待合所内婦人待合室を解放し腰掛を用意し湯沸釜を準備すること

卒業生諸君に告く
來る十八日午前十時卒業證書授與式を擧行致候間御參列被成下度候
南滿洲工業專門學校

艶色生膽秘譚（51）

伊藤松雄作　河原塚亀太郎畫

墮地獄（一）

一休和尚さん
しやりかうべさげて
門松ア冥途の一里塚

隼の長太は、うたゝねの眼をさました。
「チェッ、あいつまでが……」
窓には西陽がかつと燃えついてゐた。
二階を下りると茶の間には、如輪木理の火鉢に銅壺が光り、鐵の五徳に龍文堂の鐵瓶が、チンチン音を澄ましてゐる。
三次は門の格子を洗ひながしてゐるらしく水音につれて、
野ざらしお仙は
しやりかうべ賤す
懐用心
御用心
「莫迦野郎、よさねえか」
「へい！」

三次は首をすくめて臺所口へ廻る。
「へツ、うまくごまかしやアがつたな」
「おい三次」
「へい」
三次は裾をおろすと、茶の間の閾際へかしこまつた。
「もう日暮だつてのに無人ぢやアしかたがねえ、おめえ一本つけてくんねえ」
で、長太は、火鉢の前へ大あぐらをかいた。
湯呑でキユツとひつかける酒。
晝寢起のだれきつた總身に、心持よく沁みわたつたが、ひどくいゝ機嫌に長太は唇をきる。
「お仙つて云やア何ンだな、あれつきり音沙汰なしぢやアねえか」
「人の噂も七十五日つてね親分」
「何よウいやアがる」

「對手がわるいや」
腹の底でかう呟く。
「浪人者の仕業に違えございませんよ」
利いた風な三次の口吻が、長太の胸をチクリとさす。
「さうと判つてりやア云ふがもなアねえ、併し……」
重く云ひ返した長太またもやムンヅと腕をくんで考へこんだ。
せつかくの酒も仕事のことゝなれば、味も香もなくなつてくるらしい。
と、街路から響いてくる怪しげな錫杖の響。
「惱める者は日光を求めよ
渇ける者は泉を訪へ
眠れる者は眼を覺せ
余は生佛の再來なり」
疾風の如く喚き去る大音聲。
長太はギヨッとして三次を顧み
「なンだ騒々しい」
が、三次は驚かない。

ヒツソリした。
長太はかつて大川へ追ひこんだ以來、全くその姿を大江戸の市中から見失つてしまつたお仙のことが、反つて氣になるのだつた。
「なにやアどうしたい？」
「あ、姐御ですかい、お詣りにお出かけでさア」
「なアに權三の野郎よ」

苦笑にまぎらしたものゝ、まつたく三次が云ふ通り、お仙の噂は日毎に薄れゆく今日この頃だつた。
「その代り親分、血卍の奴等の増長つてもなア」
「ウン」
長太は急に唇をつぐみ、重苦げに考へこんだ。

音曲漫談（一）

常磐津操太夫

滿洲に於ける音曲界は一體どう云ふ様子か、一寸行つて見學して來よう……と云ふやうな、極輕い氣持でやつて來た大連の地が、案外氣樂で住みよいし、皆様は親切にして下さるし、ついうかうかと長い月日を過してしまひました。まあ、うかうかと云へばうかうかでせうが、矢張り、皆様の熱心さについ引かされて歸るに歸れなくなつた……と云ふ方が本當でせう。で、其の御挨拶がてらつまらぬ思ひ出話をしやうと思ふのですが初め私が藝事に身を入れやうと考へたのが十代の頃で、元來私は藝事がすきだし、すぐの弟が觀エ門と名乘つて常磐津の家元、名人古式部の養子になつて居ましたし、其の様な關係から常磐津を習ふと思つて親父に相談しました所がゆるしてくれません。いかんと云はれゝば、倘やりたいが人の常で、とうとう家を飛び出して、其の當時伊井、河合等と肩をならべて居た壯士芝居高木蝶之助の一座に加はりました、此の人は高蝶々々と云はれた、相當有名な人で、其の弟子になつて私も一人前の役者に成るつもりでしたが、何しろ素人から飛び込んで舞臺に立つたのですからサアいけません。やる事なす事しくじりばかり、忘れもしませんが甲府の櫻座と云ふ小屋に掛つた時に私にフラれた役が巡査、ポツト出の私にしちや隨分大役でしたから、私としては一生懸命。サテ舞臺となり勢ひよく飛び出して見ると、見物がドッと笑ひ出しました。のぼせ上つたものゝよく氣を付けて見るといけませんや、制服制帽にサーベルつツた所までは立派なお巡りさんですが、靴をはくのを忘れて、樂屋ばきの草履で飛び出したと云ふわけです。これじや笑はれるのが當り前。が、まあ田舍のお巡りだ、草履やわらじは朝飯前と、ヤケにくそ度胸をつけてドンチヤン、バラバラの大立廻りをはじめ、いよいよ幕切れで又失敗、自分がつツて居たサーベルで横ツ腹をいやと云ふ程つき上げたのでお巡りさん、ウーンと氣絶してしまつたと云ふわけ、これじや芝居になりません。又ある時「法廷の血煙」ツて芝居を打つた時の事ですが、其の筋は女の惡が裁判長、判検事の居ならぶ前に引出されて來る。所が其の女は裁判長の妹であつたので、改心した女はピストル自殺をすると云ふ筋でしたが、何にしろ昔の小道具です、其の拳銃が又大古物で、打てばピユーと火の飛ぶやつです、いよいよ自殺となり「ゆるして下さい」と叫びつゝ拳銃を取り出したまではよかつたが、引金が女の髮にひつ掛つたからたまりません、ズドーンと一發、そいつがまともに私の額に來て、顔一面の大やけど、つくづく親の罰だなあ……と思ひましたよ。

沿線各都市で慰安浪曲會

今夕沙河口劇場に出演して
大和之丞一行の離連

浪曲愛好家から白熱的歡迎を受け旅大に於て絶大な好評を博した浪曲界の最高權威である吉田奈良丸改め大和之丞一門は今十四日夜一日限り村上演藝部の手にて沙河口劇場に出演し十五日の鞍山を振り出しに本社販賣所主催の讀者慰安浪曲大會を左記の日程により沿線各都市に於て開催することに決定した、會費は一般特等二圓五十錢一等二圓二等一圓二十錢を讀者優待券持參者に限り特等二圓一等一圓六十錢二等一圓に割引することになつてゐる
十五日（鞍山）▲十六日（營口）▲十八九日（奉天）▲二十日（撫順）▲廿一日（鐵嶺）▲廿二日（長春）▲廿三日（四平街）▲二十五日（開原）▲二十六日（本溪湖）▲二十八日（安東）

大橋座のレヴウ團

常盤座に出演

常盤座にては今月中旬に南榮子舞踊團を招聘する豫定であつたが都合で延期され、これに代つて大阪大橋座の專屬のレヴユウ團が來る廿二日より來演することに決定した同レヴユウ團は野間正規氏を支配人兼監督として深山美子、山路あけみ、桃山好子、山田芳子澤町子、生島陽子のメンバーでその他音樂部及照明部數名が來連すると

高等音樂院試演會

十六日に開催

大連高等音樂院にては第十一回試演會を來る十六日午後一時より協和會館に於て開催するが、プログラムは四十三番の多數でピアノ獨奏、獨唱、舞踊等である

摩天樓

大日活で今十四日より日活現代劇特作品「摩天樓變態篇」を上映の豫定であつたが、はいかる丸の入港遲延で明十五日初日に延期された

噂話

今夜から協和會館に上映される「ノアの箱船」は映畫人が想像する以上にこんがらがつてゐるらしいが▲そのプリントが「デユープであるが、コツピイでない」と言ふのだそうなが、さて何の事やら▲常盤座の「ハンガリア狂想曲」は素晴らしい好評をなしてゐる「そんなに良いか」と聞けば▲モボ、モガ連中「舞踏會の夜の木蔭のシーンがその……ウフウフ」と嘆聲を洩らす▲何でも口元に證據歴然たるものがあると言ふのらしいが、御心配御無用「あれはリスリンのお化粧です」▲だからリスリンにもエス・エイがあると言ふものです……▲ゆふべ演藝館で阪妻と高木新平と生野初子の顔合せ映畫を試寫▲還てゝはいけません、大阪フヰルムの「侍甚七捕物帖」道理で生野が若々しく肥えてゐる

清水二段宮武喜三太氏臨時手合

四子　清水德太郎氏　宮武喜三太氏

—【5】—

○八一チの十　●八二チの九　○八三チの十一　●八四トの十一
○八五ヌの八　●八六ヨの十二　○八七レの十二　●八八ニの十
○八九ロの十一　●九〇ハの十二　○九一ハの十三　●九二ロの十二
○九三ハの十一　●九四ニの九　○九五ハの八　●九六ヲの八
○九七トの六　●九八ハの六　○九九への七　●一〇〇チの六

ラヂオ

大連 JQAK

（三月十五日自午後七時）
◇義太夫「朝顔日記宿屋の段」太夫福田白鳳、三味線竹本佐太夫
◇筑前琵琶「重松中尉」洪洸山上地旭静
◇清元「青海波」立唄作野夫人、唄植木、三味線清元壽美子
◇脚本朗讀「名優」田代賛二
◇支那唱「法場換子」唱劉月紅、師付楊樹亭

東京 JOAK

（十五日自午後六時廿五分）
◇講演「地震帯の活動と移動の地震に就て」國富信一
◇哥澤（一）花も實（二）夜の雨唄哥澤芝八榮、三味線同芝若
◇箏曲「青柳」三絃木谷壽惠子、箏高橋文子、尺八納富壽堂
◇荻江節（一）梅（二）金屋丹前唄荻江鈴子、三味線同章子
◇和洋合奏（一）夜の灯影（二）神田情調（三）元祿花見踊、日活オーケストラ、指揮田中豐明

陸境減税の廢止は 日本綿糸布類に大打撃
我が國商品の滿洲への販路は 支那品に壓倒されん

十二日假調印された日支關税協約附屬交換公文に於て陸境税三分の一減主義を廢し海陸關税一率制とすることがあげられて、安東に於ける貿易品に大影響を來すべく、就中三分の一減税によつて安東を經由し滿洲への販路を擴張してゐた日本の綿糸綿布は勢ひ大連を經由すべきことになると觀られる、然しながら綿布生地物は現在に於ても上海靑島方面に於ける支那品の進出著るしきものがある、此の傾向は年を逐ふに從つて愈々盛になつてゐる、從つて今陸境税の特典の廢止は

支那品の進出に對して益々有利ならしむると共に日本品は却つて競爭上不利な立場に置かるゝこととなり、現在安東經由のものがその儘大連經由となることは頗る疑問とされ、只晒金巾の如き加工品の大連廻りは減ぜざるものとするも他の綿糸、綿布等に至つては、輸入の減少を招來すべしと觀られて居る、昨年中安東經由滿洲に輸入されたる綿糸、綿布類は二百六十七萬七千五百四十二擔で昨夏來の露支關係の銀價の暴落等によつて例年よりぐつと減少したものである、今試みに日本棉花大連支店調査による大連、營口、安東を經て滿洲に

輸入される綿糸、綿布類に關し、最近五ケ年間に於ける日本品、支那品の趨勢は左の如くである(單位俵)

		一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年
細布	日	三二、四四	二九、四一九	三五、九一四	三七、〇六九	二〇、五三一
	支	一三、二三	一二、一二〇	七、六〇一	九、九九九	九、六〇六
綿糸	日	二五、三六六	一四、四〇九	一三、一〇四	一七、〇八〇	一三、一八〇
	支	六〇、六九九	三七、六九六	六〇、一三三	六三、三一三	六八、五四〇
粗布	日	九、〇四八	五、一三四	二、六九九	四、七〇八	四、一二一
	支	五五、六〇〇	六六、七七五	五〇、〇三一	四〇、五一九	四三、七三五

右は單に綿糸、粗布、細布についてみたもので、必ずしもこれによつて全部を推すに足るものとは言へぬにしても、その大體の趨勢を把捉するものであり、支那品の優勢にして、日本品は漸次壓迫され殊に細布に於ては支那品は日本品の一割四分に足らざりしものが、五年後に於ては

日本品と悠々肩を並べつゝあることが判る、勿論それは滿洲に於ける人口の增加その他の理由あるにせよ兎に角勞銀の低廉なること及び關税關係、更には陸境税特典の廢止によつて日本品の滿洲に於ける販路は次第に支那品に壓倒さるべきものと觀られてゐる

關東州論も 悲觀の要はない
鞍山と比較研究が最も必要
製鋼所問題―篠崎書記長談

大連商工會議所篠崎書記長は昭和製鋼所問題について左の如く語る昭和製鋼所が設置されるか否かは最早問題でなく、殘された問題で論議の中心となつてゐるのは單に敷地の問題だけである、最初敷地としては鞍山が豫定地とされ次に再調査の結果新義州が有望となり、更に關東州內說が唱へられたのである、コストから言へば鞍山が最も有利で次は大連、新義州の順序となり滿鐵の調査によるも鞍山と

新義州とは噸當り十一圓からの開きがあるにかゝわらず新義州說が唱へられるは輸入税及獎勵金の關係があるからである、即ち製鋼所の鋼鐵產額が一ケ年約五十萬噸とし且つその全部が內地に輸入せらるゝものと假定すれば內地鐵入税の五百萬圓を免れた上製鐵獎勵金三百萬圓が下附されるので滿洲に設置する場合より有利だと言ふのである、しかしこれは製產額全部が內地へ輸入された場合の數字であつて實際に於ては製產全額が內地に輸入されるものではないと云ふことを考慮に入れる必要があり、更に關税や獎勵金の如きは一時的のものであつて

永久不變の制度でないからこれを採算の基礎となすは非常な危地を步むものであるとも言へることになる、それで關税及補助金問題が鞍山に於て何とか方法がつけばコストの安い鞍山が一も二もないことになる、しかしそれは對外的にデリケートな關係を生ずる意味において一つの難礁とされてゐるのである、そして鞍山が不可と言ふ場合となつて初めて關東州內が問題となる譯であつて、一部に傳へられてゐるが如く關東州內說は全然脈がないなどとは問題の行き筋を間違つた見方である、吾等が上京運動した主旨は滿蒙開發の根本は工業政策によるの外なく、滿蒙の工業は製鐵及

化學工業を基本工業とする外なき實情において、滿蒙開發の國家的使命を帶びる滿鐵がこれを滿洲內に設置せざるが如きは滿洲を經濟的に放棄するといふ結果を招來することになるので鞍山不可なりとせば關東州內設置を要望したのである、そして關東州內において最初問題とされた給水の如きも各所に水源を見出し假に製鋼事業が擴張し年產額百萬噸となり人口の增加を見越しても決して不足をつげない程であるから州內も第一條件に於て欠げる所はなく更に

特惠關税問題の如きも印度鉄鐵などの關係上英國の反對などが杞憂せられてゐる商工省方面ではスチールのみを品目に加へればさしつかへなしとみてゐるやうだし外務省でも困難ではあるが決して不可能な問題でないとみてゐるやうである、只特惠關税は議會の協贊を經ねばならないから實施が遅れると言ふだけである、更に鞍山と州內と比較する時、鞍山は排水及び鑛滓、捨場と多額の經費を要するの不便があり、且つ又將來支那が關税自主を確立した場合鑛石の輸出税關係において不利であり、關東州では鐵にせよ

鑛石にせよ安い方を拂へば良い便宜がある、更に製鐵鋼を支那に入れる場合州外よりの輸入税は一割二分五厘なるに對し關東州內からは五分であることも有利な點であり、次に製鋼事業の副產工業の勃興に思ひを致す時關東州に多大の特典があることを知り得るのである、要するに昭和製鋼所も大體において滿鐵總裁ゝ肚は滿洲設置に決定したと傳へられるが、その點から言ふと鞍山と關東州の比較研究の必要があり、上述の理由からみて關東州も決して悲觀すべきものではなく却つてますます有望なりと信ずるのである

鐵道省用炭の 來年度購入契約
値段を低下して十萬噸增加
撫順、淄川炭は半減

【東京十四日發電】昭和五年度の鐵道省用炭購入契約は江木鐵相の單價引下け交渉以來停頓の狀態であつたが年度末切迫を考慮し自說の一圓內外引下げ主張を讓步し七十錢下げを以て契約するに決意せるを以て遲くも來る二十日頃には解決を見るものと觀られて居るが對滿鐵關係のものは實現難を豫想されて居る、なほ撫順炭買入れは海外拂ひ節約の意味で昨年と比し半減する事になつて居るが今其の內わけを見るに

塊炭　平均廿錢乃至卅錢安
切込炭　平均五、六十錢安
常盤炭　平均五十錢安

で平均單價は四年度の十圓九十錢より七十錢安の十圓廿五錢位にして本年買入れ數量は昨年の二百七十萬噸に對し火力發電炭十萬噸を要する結果二百八十萬噸となつたが海外拂節約のため開平炭六萬噸を全部廢止撫順炭も卅萬噸を十五萬噸に減じ內地炭に振り向ける事となつたが淄川炭も撫順炭同樣半減の方針であると

出炭方針の 對策協議
けふ滿鐵で

別項東電の如く鐵道省では昭和五年度用炭購入に際し海外拂節約の意味で撫順炭の契約を半減することゝなつたが滿鐵では內地市場のみでなく南支に於ても銀安、印度炭の進出等により著るしく不利な材料が續出し此際出炭方針等に就て適當な對策樹立の必要ありといふので十四日午後より重役及販賣關係主腦者の緊急會議が開かれた

紐育準備銀利下
きのふ三分五厘に

【ニューヨーク十三日發電】ニューヨーク聯邦準備銀行は十三日再割引步合を三分五厘に引き下げた

波蘭銀行利下

【ワルソウ十三日發電】ポーランド銀行は利率を一分引き下げ七分とした

東、烏輸出 運賃値上說
事實でない

東鐵及ウスリー鐵道の輸出貨物に對する運賃値上說が屢々傳へられたが、日本商議から東鐵に其の有無を質した處十一日付で當地方に於ける輸出事業の不振に準じて輸出運賃が重要性する點を考へ東支商業部から運賃率の値上げを必要な場合は相當の時期と正當な方法により遲滞なく關係者に通知するとの回答を寄せて來た、これによつて東、烏共に運賃率の値上げはないものと見られる

大日本、大連兩製氷の 提携計畫進捗す
あす和合日氷社長が來連

大日本製氷會社と大連製氷の合併問題は昨秋來日氷の州內進出計畫に伴ひ屢々傳へられてゐたが先般日氷重役枝松胖氏の渡連以來兩社間の提携機運は俄然進展を見つゝあるものゝ如く日氷の大連製氷出資、大連製氷の八株に對する一株增資說が傳へられて居り日氷は機械設備其他を提供し大連製氷の現在の製氷能力の增大を圖ると共に將來は一大冷藏庫の新設をなす計畫であると尙十五日ばいかる丸にて來連する日氷社長和合英太郎氏は右の用務を帶び兩社の提携實現のため來るものであると

三月十四日限り 豆粕豆油受渡

大連特產市場に於ける三月十四日限の豆粕、豆油は十三日前場にて夫々納會した、豆粕賣買總出來高は三百三十三萬四千枚、受渡高七十五萬一千枚、受渡步合二割二分五厘、受渡標準値段二圓三十六錢にして二月十四日限に比すれば賣買總出來高に於て五十五萬枚、受渡高に於て二萬四千枚の減少を示して居る之が仕手を示せば左の如し(單位千枚)

△渡方　東永茂一三、同泰一七、同聚厚一三、和泰一、和生祥一六、乾聚和一七、達昌二、双聚福一四、萬合公一一、萬義長二二、沅成棧四、福順厚二三、福順義二四、福聚恒二二、福和盛四二、福聚昌二二、廣永茂二二、廣沅泰三二、恒昇三三、公成玉一、天和成四五、義甡一七、玉昌合二四、裕昌沅二、裕成東三、裕泰三、昇沅三三、成德盛七、成裕昌東記二〇、成裕昌面記三三、日清六九、三泰一一九

△受方　慶來東一、裕興盛二、日陞五、瓜谷一〇六、三井三七三、三菱二六三、角田一

次に豆油は賣買總出來高二十四萬八千箱受渡高七萬七千箱受渡步合三割一分強受渡標準値段十九圓五十錢にして二月十四日限に比すれば賣買出來高に變りはないが受渡高では九千五百箱の增加を示してゐる、仕手を示せば左の如し

△渡方　東永茂一五、同泰一〇、同聚厚四〇、忠興厚四〇、和生祥一五、乾聚和三〇、双聚福五、萬慶昌五、萬義長三〇、慶來東一〇、裕泰五、昇源一〇、義順甡五〇、玉昌合六五、福聚恒一〇、公成玉五、廣永茂三五、福順義二五、福聚恒一〇、成祥五、成德盛二〇、東記二五、日清三〇

△受方　西記二五、達昌五、三井六六〇、三菱一〇五

三品赤尾支配人 勇退

【大阪十三日發電】大阪三品取引所赤尾支配人は今回自己の都合により勇退する事となつたが、おしまれて居る、六年で未だ高齡と云ふ程でもなく後任について支配人を置かず其の儘現在通り支配人制度で行く筈である

櫻內理事長上京

五品理事長櫻內辰郎氏は十五日前九時發汽車にて陸路上京

銀爲替講習會

鶏島町基督教靑年會教育部では三月二十六日より四月二日まで一週間銀爲替講習會を開催入會希望者は二十四日迄に申込まれたしと

上海爲替情報

【上海十四日發電】賣屋の買ひ埋め引續きあり上げたるも、高値買方恒興、大興等賣りに下押す安値賣物薄すに保合、爲替小口商內のみ乍ら投機筋は爲替と標金との鞘取り商內多く、倫敦銀は支那筋先物買ひ大陸筋米賣る、支那課税問題にて氣迷ひたるも銀塊そのものは稍底突き模樣であると、引アト永興、志豐永賣り、買方恒興、福昌との間に一兩にて乘換へ商內出來た

上海標金

寄値	四九六兩六
高値	四九八兩七
安値	四九五兩三
止値	四九六兩三

經濟雜叢

奉天に於ける 英商の活動
並に日本商人 米、獨商人との競爭

英國は古くより有する長江一帶や香港に於ける商權の餘力を驅つゝ西曆千八百五十八年の所謂天津條約により牛莊に漸次拔くべからざる基礎を固め、平奉鐵道と天津に於ける商權を後陣として滿蒙貿易に意を注いだ、その後五十年にして日露兩國が主たる商戰を交ふるに至つても猶相當の成績を擧げ昭和二年度の統計に於ても對滿輸出千七百餘萬圓、輸入千九百萬圓を算してゐる

◇

その內概算輸出入千五百萬圓は奉天に於ける十九軒の英商により取扱ばれ此外大英煙公司の紙卷煙草移出額約千三百萬圓を加ふれば約三千萬圓に達し日本を除く諸外國を斷然拔いてゐる、賣込商品の主なるものは煙草が斷然他國を壓し、その他機械、雜貨洋酒等を擧ぐべく、輸入に於ては土產毛皮が滲からざる部分を占めてゐるのは注目に價する

◇

その營業方法は商業會議所を組織してゐるが依然として買辦制を脫し得ないが、買辦を通じて多額の機密費を支出して大に賣込上根深く喰ひ入つてゐる、固より店員は大部支那人を使用し本國人は首腦者のみに限られてゐる、取扱商品は專ら高級品取扱を探る點に於て米獨の安價主義と好箇の對照を爲してゐる

◇

奉天市場に於ける日英兩國の競爭狀況は煙草と機械類を主たるものとしてゐる、先づ煙草に於ては製造會社として大英煙公司、販賣會社として英米煙公司があるが兩社は事實上同一會社で、奉天工場に於て千二百人の職工を使用し年產額千二、三百萬圓を下らない、この中一千萬圓は南北滿洲並に山東に移出される盛況である、我が東亞煙草は奉天に四百人の職工を收容し年產額は營口工場を通じて五百萬圓と稱せられるが、東亞の勢力は英米の七割に對して一割五分と觀測される

◇

機械に於ては日英米三國の競爭狀態にあるが英國製品は要部が嚴秘に附せられ精巧の點に於て他國の追從を許さないだけに獨占價格に近いものがある、然し日本の機械工業は最近異常の進步を畫したると、米の大量生產と獨の安價提供とは機械賣込戰を今後益々甚だしからしめるであらう

◇

最後英國の滿洲に於ける金融上の陣立を一瞥すれば奉天が將來益々滿洲の中心市場たるべしとの確信のもとに大正十五年滙豐銀行支店を奉天に開業して手形交換、支那側預金吸收、天津支店の銀ノート發行支那側に對する資金融通等の業務を開始して今日に至つてゐるが支那側の信用厚く好成績を擧げてゐる模樣である、この形勢を見て米國も亦昭和三年三月奉天に花旗銀行支店を開設したので此の方面に於ても英米兩國は競爭の陣容を整へてゐる

黃塵

◇…溶々として停止するを知らざる銀價慘落のため銀貨國たる支那國民の蒙る痛苦は金解禁後の影響に惱む吾が國民の比にあらず銀貨維持策に努力する南京政府の苦心は察するに餘りある。

◇…しかし乍らその維持策たる課税或は輸入禁止等が果して銀貨國の支那として實行出來得るかどうか疑問とされてゐたが果然財政部と工商部の意見一致を缺ぎ內紛を起してゐる狀態である

◇…當市錢鈔市場でも南京政府の維持策を材料として氣迷ひ中であるが漸次これを輕視する傾向にある。

◇…市場僞の噂るところによれば南京政府の維持策も結局は役人達の懷ろ肥やしに相場を操る術策に過ぎず昨今の相場は南京政府の噂を材料に相場でであるから喰ひつかれぬ間に逃げるのが賢明だと。

錢鈔

材料薄で 鈔票は保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片十六分の十五と(八分の一高)紐育は四十一仙八分の五と(同事)先物は十八片十六分の十五と(八分の一安)孟買は五十四留比八分の三と(同事)瓦爾は六十九兩八〇匯申は七十二兩三二五、大洋は百両丁庚、日米は四十九弗十六分の五と(同事)米英は八十六仙十六分の三と(八分の一高)米支は四十七弗十六分の十三と(十六分の五安)上海標金は四百九十六兩五と寄り九十六兩六と止め當市の銀價は保合を呈した

◇現物取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	六九〇	六九〇	六九二	六九〇

出來高　期近四百四十八萬圓

◇定期取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	二六三	二六〇	一七三
十一時	二九〇	二九〇	一七三
十二時	二八〇	二八〇	一七三

出來高　銀對金十二萬五千圓　銀對洋一萬七千圓

商品

前場

麻袋(保合)　產地保合を入れたるも千田別電值積三十一留比四分一、先積三十一留比二分一、市況閑散と綜合みにて銀塊、米日共に不變、銀票相變らず軟弱に氣乘らず、保合閑散裡に見送つた、引際氣配現二十六錢二厘、三月二十六錢二厘、四月二十六錢五厘、五月二十七錢、六月二十七錢五厘見當

定期喰合高(十四日現入)

大豆	五八三四車
高粱	三四四九車
豆粕	三〇二六千枚
豆油	三二二三〇百箱

豆

昨後場人氣引き立ち各品共に一齊に昂騰を呈せる氣先▲今朝大豆は奧地高を眺め騰りに寄つたがアト豆粕の買氣一服に添ひヂリ安商狀を辿り遂に暴落を呈した▲高粱も亦反動で暴落、豆油は無味平凡に推移して大引▲頃日來各品共に歐洲又は內地方面の買氣があり騰り商狀を呈してゐたのではなく銀の目先安を材料として買氣を呈してゐたのである▲從つて昨今の如く銀の目先きも差したる安値は現出しそうもなく今邊一服模樣と見られてゐるから各品共に目先き保合と觀測されてゐる▲現物大豆は油坊三十五車、三井、豐年、興記、建成、廣源泰、福順昌で四十五車▲豆粕は興懋東、三井で三千五百枚豆油は福元、興記、廣源泰で三千箱の各手合はせがあつた▲今日の油坊生產高は八萬八千枚で操業工場は三十二軒である。

銀

海外材料としての銀塊は倫敦同事、紐育八分の一安、孟買同事を入れ▲爲替は日米米日共に不變を報じ又上海標金は保合を呈した▲從つて地場鈔票は以上の材料薄を眺め昨後場の止めと同事に止めた▲地場鈔票は例の課税問題懸念に氣迷つてゐる樣であるが▲財政部及商工部は兄弟喧嘩をし一寸意見の一致を見そうもなく又例へ課税を行つた所で結果に於ては依然銀安になる譯である▲銀の大勢は需用國である支那がいくら維持策を考へても結局は無駄である▲昨夜も上海では錢莊銀行公會は秘密會議を開き課税問題解決に關し決議案を政府に提出したがこんなことをやつても何もなりはしまい▲十三日現在上海在銀高は兩一億一千九十八萬六千兩で前週より二十五萬九千兩增加、弗は一億四千九百三十一萬弗で四百九十四萬弗の增加を示してゐる。

綿糸

め地場綿糸布共に存外騰りにて綿糸與扇四百六十圓、三月百五十五圓、四月百四十九圓半、軍人七圓十錢、三輪A一圓九十三錢、三星

市況

特產

買氣一服に 大豆は暴落

[The rest of the market reports cannot be read reliably at this scan resolution; only their section headings are reproduced here: 定期前場, 現物前場, 市場電報, 銀塊及爲替, 大阪株式, 東京株式, 株式 當市弱保合, 內地軟弱, 後場(保合), 手形交換高(十四日), 爲替相場(正午十四日), 大阪期米, 東京期米, 大阪綿糸, 大阪棉花, 神戶豆粕, 橫濱生糸, 印度麻袋, 奧地市況(十四日前場), 公告]

最近歸來者の實話

莫斯科現狀 (二)

物資の缺乏と一切の共同化 スターリンの左傾政策

都會に於けるネツプマン、農村に於けるクラークは生產分配の選手です、この選手の除外は忽ち今のモスコーの物資缺乏を齎したのであります。

物資缺乏の一例を申上げますと蜜柑一箇小さいので二十哥(錢)です、まあこれは輸入品ですが、食料品を買ふ事でも、他の國では金がなくて買えない人が澤山ありませうがモスコーでは金があつて買えないのです、職業組合員は手帳を貰つて居つてこの手帳に依つて特定品を買つて呉れるのです、例へば牛肉手帳を持つて行くと、一日一度一人當り百瓦を呉れます組合員以外には賣つて呉れないのです、そこで最近は馬肉の流行です、組合員でも牛肉百瓦では仕方がなく三日分を貯めて置いて一度に食し他の二日間は馬肉といふ方法でやつて居ます、價格は一等肉一留、二等肉五十五哥、三等肉十五哥、無論骨付きのまゝです。バターも同樣手帖持參人には三百瓦他の者にはその半量牛乳は病人、子供で醫師の證明書に依つて定量を渡すといふ樣になつて百姓が自分の牝牛から乳を搾つて勝手に街へ持つて行つて賣る事を嚴禁しました、食料品以外のシヤツ、敷布、材料ひとども一々手帖に依つて一個宛賣り渡す有樣です。

市民はこの先どうなる事かと不安に襲はれて居ますこれで本年の春播でも惡かつた時には一九二〇年の飢饉より以上だと騒がれて居ます。

クラーク、ネツプマン驅逐の飛沫を蒙つたものは開業醫と辯護士があります、何れも準ネツプマン階級で政府からは常にいぢめられる方です、從來官公立病院のお醫者(從業員と見做さる)以外に相當の開業醫があつて自宅診察或は往診に依つて可なりの收入があつたのが最近個人的に往診することを禁じ必ず私立病院と銘を打つて患者の診察に從事もその私立病院に對しては重稅を課すると云ふ策をとり辯護士も同樣從來個人的に事件の辯護を引受けて居たのを組合組織にさせ組合として事件を引受ける樣に命じ何にもかにも共同化です。

かうして一切合切の合同化に伴ふネツプマンやクラークの彈壓に對しての反感は可なり深刻で殊に農村には最近黨員、青年團員の暗殺放火が頻發するとの噂であります。

遼陽の聖者 【下】

ダグラス師を憶ふ

教專教授 理學博士 大賀一郎

遼陽にキリスト教の傳道の開始されたのは一八八二年であるが最初の牧師ゼームス・ワイリー師の赴任されたのは一八八七年であつた、ついで一八九〇年五月聖ダグラス師來られ翌一八九一年後に遼陽の救世主と仰がれしマクドナルド・ウエストウオーター師が來つて施藥院を開かれた、ダグラス師は同年滿洲の傳道師ストルサー姉を迎へて家庭の人となられたのである

師は遼陽に來るや間もなく文會書院を設立し、僅かの子弟を集めて西洋地理、西洋歷史、自然科學等の最新の學を教授されたのである、これが滿洲に於ける最初の泰西文化の輸入であり、ダグラス師は正に其名譽を負はるべきものである、此文會書院は後に團匪の亂に烏有に歸して後奉天に移され遼陽には其後文德中學が建られたが舊の文會書院の礎石はフインドレー師邸の隅に殘存してゐる、五部屋許りの小さな建物である、師の訓化にあづかりし卒業生は二百許りあるといふ、彼等は官吏となり醫師となり青年會幹事となり郵便局員となつてゐる

一八九四年師の遼陽赴任後四年にして日清戰爭があつた、遼陽は戰爭の巷とはならなかつたが左寶貴將軍の部下の兵がたゞ一圖に外人を倒さんとする殺伐の勢に乘ぜられて遂に八月十日ワイリー牧師を街頭に傷付けるに至つたのである、而して八月十六日夕方になり遂に遼陽に於ける最初の傳道者の靈は敵に對する赦免の祈りをなしつゝ天に歸つた

此大事變に當りてダグラス師の盡瘁された所は實に多大であつた師が道友ワイリー師を追悼した名文は載せて一八九四年チヤイニース・レユーダー第二十五卷にある

余はまだダグラス師の文章に多く接してゐないが散見した二三は眞に名文である、ダグラス師の令孃は小テニソン或は小ブラウニングとよばるゝ位の詩人であるのに見ても父なる師の文才が偲ばれる、後日此方面の材料が蒐集された日には再び余は筆を執つて見たいと思ふてゐる、何れにせよ、道友の殉教の死に際して驅れし友情の美は滿洲キリスト教傳道史の精華であり、其追悼文は滿洲キリスト教文學の精髓である

去る二月八日故國に於けるダグラス師の客死の報が滿洲に達するや檄は飛んで二月十八日師の追悼會は遼陽基督教講堂で營まれ、遠く師の道德を慕つて集まるもの無慮二百何れも師の四十年の傳道生涯を語るものである、其數は必ずしも多くは無い、しかし現代の滿洲に家の隅の首石となり活動しつゝある有爲の人物を網羅してゐる

イングリス師、ブラウン博士、ヤング博士、フインドレー師、ミスケリー師を初め徐牧師、王牧師、郭牧師も列席されてゐる、而して此追悼會の營まれし講堂こそは故ワイリー師の殉教の記念堂でワイリー師の父君が其子のために資を投じて滿洲教化に捧げたものであり、聖ダグラス師が安息日に師の流暢なる官話を以て說教されてゐた所である、集るもの無慮一百、實に殉教の都遼陽は滿洲基督教の靈的中心である。此堂の建立されたのは一九〇七年であるが、その翌年全滿に燃え立つたリバイバルの烽火の由來は以て想像するに難くない

余は幾度か此キリスト教講堂を訪ねた、そして此の講堂の向つて右側の壁に金文字にて記されたる「李公殉道堂」なる碑の前に立ゝて常に襟を正したものである、殉教の血の流るゝ所に教會の設立さるゝ事は古も今も變りが無い、金と權と智と力とは此世のものである、然し我等基督教徒の國は十字架上の血の勵によつてのみ建設せられる

聖ダグラス師は殉教の友の記念堂に良牧となつて主の道を迷へる伴に傳へられる事爾來三十年、病魔は屢々師の肉體を襲ふた、喀血は續いた、然し大膽なりし師は終り迄戰はれた、南方海城より北方鐵嶺に至る間の鐵路に沿ふて左右二十哩以內は師の領域であつた、此領域中に二十有五の小教會があり、十有五の學堂がある、道友フインドレー師と共に或は小馬に乘り或は自轉車を用ひて東西に馳せつゝ神の福音は宣傳されたのである

本溪湖に於ける傳道の迫害は師等同志間の語草であらう、騎馬の師は暴漢の投石に傷けられ果は引下されて毆打さへされたのであるが此時師は絕えず無辜の異國の兄弟の罪の赦しを天父に祈られてゐたといふ、又フルトン師ロバートソン師及び師等は聖書やトラクトを攜へて村々を傳道されたのであるが理解なき村人は非常に聖者を遇するに嘲弄を以てした事はいふまでもない、傳道者の世より受くる報酬は迫害と飢餓 嘲弄とである是主キリストの經給ひし道程であるが故に師等は此特別なる御恩寵に感激したのであつた

一九〇〇年の團匪事件は滿洲にも大なる試練であつた、家は燒かれ、學校も教會も烏有に歸し全財産は沒收され、師等は身を以て遼河に出で船中に隱れて漸く難を營口に避けられたといふ

斯かる大なる困難の身に迫める間に師の眼は高く天に向けられてゐた、中華キリスト教會なる大機關は師の祈りの中に生れた組織であつた師の名聲は南北滿洲の界を越えて遠く全支に普く 四十年の長年月間滿洲の片隅遼陽に積まれし榮は正に天に達した、今や英魂は長大なる驅幹を離れて長へに天に歸つた、滿洲の伴等聖師の歸還を如何に待望した事であらう、歸理の程は不可解である、我等は此の聖者の事蹟の片鱗を目のあたり見た事を感謝せざるを得ない、神は砂漠の如き人生の中にオアシスを備へて我等を息はせ我等を教へ給ふた、實に永遠の教へのみ克く人間を永遠に導くものである【寫眞はダグラス聖者の追悼會】

▽…新刊批評…△

戰記名著集 第八回配本

「兵車行」「旅順閉塞」「風雲回錄」の三篇に別れてゐるが「兵車行」は大月隆仗氏が歩兵上等兵としての實戰參加記をものしたものであり故國の出發から最後の遺[illegible]護送まで母國の小國民の萬歲の[illegible]に送られての停車場、船出、遼陽、[illegible]しいダルニー市の占領、[illegible]

「旅順閉塞」は桃陰氏の著、彼の軍神廣瀨中佐を中心として其の周圍の人々を正直に記述してゐる、第一閉塞隊から第五閉塞隊迄の悲壯な活躍を如實に示し、廣瀨中佐の生立は勿論、名勇士の經歷、或は其の人格を偲ぶに足る逸話を載せ、實戰記と綯ひ交ぜて簡明に面白く最後に各々閉塞隊に參加した勇士の名前を附錄として加えてゐる、[illegible]堅太郎子[illegible]想出を書[illegible]五百二十[illegible]名著刊行

實業教育…現下…ある
徒らに空が多過る

村正義氏談

我國の現狀から見て國民の九割は實業教育を受くべき立場におかれてある事は、最近の入學志望者の傾向によつても窺はれる、我國の現狀は正に實業教育が痛切に必要であり、要求してゐるのである、それによつて商業の振興、産業の合理化といふやうな事もなされるのである、併しそれには我國の教育制度を根本的に改革しなくてはならぬと思ふ、現教育制度は明治時代の

所謂指導者養成の制度

であつて、現代には到底相容れない點がある、最近中學や女學校でも漸次實業教育を加味するやうな傾向になつて來たが、さうした事は到底此の根本的な改革にはならない、長い傳統によつてそれから拔け切らないで、形式ばかりの實業教育を課した所が到底眞の實業教育がなされるものではない、もつと

根本的に考へなくては

ならないものがある、次に此の實業教育は決して教育を功利化するものではなく、それによつて人格を陶冶するものである、眞の人格は實業教育により勤勉、努力等を

…る見方は眞の實業教育を見極めたものとは云はれない、今日の實業教育、勤勉教育はそこに人として…の完成を見出すのであるが、此の功利化に對しては十分注意しなくてはならず

現在の實狀に對しても

刷新を加へて行かねばならぬ、何れにせよ今日は空理空論は何等の價値を持たない、地方青年等が自分の深い體驗からその實感から物を見、そこに進むべき道を發見し…業教育…されて行…的だとす…

…つゝある傾向には非常に尊いものがある、日本の從來の教育は此の體驗を忘れてゐた、現實生活の體驗に基く教育を閑却してゐた、今後はそれを教育上の重要な焦點としなくてはならない、それには

眞に正しい實業教育を

施す事が最も適當であり、最も近道であると思ふ、産業教育、實業教育が要求される事は社會の實狀から見て當然の事であり、必然の事であらねばならぬ、斯る意味に於て實業教育の振興は現下の急務であると云ふべきである

日本の大人は國歌を歌はぬ
一般に國歌に對する觀念が足りない

大連朝日小學校　櫻井校長談

學年末の卒業期になつて過般來中等學校の卒業式が相次いで行はれ小學校側の卒業式も旬日の後に迫りましたが、こうした卒業式に際し私の常に遺憾に思つてゐることは

◇一般保護者　來賓等に國歌に對する觀念の缺けてゐることです。時に他校の卒業式に參列して保護者來賓の間に交つてゐる場合このことを痛切に感じさせられます、たとへそれが卒業式であつても、その他の祝賀の場合であつてもいづれの場合を問はず君ケ代を歌ふ場合は其の場に列席してゐる者が擧つて奉唱すべきものであることは申すまでもありませんところが卒業式の場合などには實際に歌つて居るものは其の

◇學校の先生と生徒だけであつて來賓や保護者で歌つてゐる人は極めて稀です、これは國歌を尊重する歐米列國等に比べてまことに恥かしい話で君ケ代を歌へないやうでは全く日本國民としての資格を疑はないわけにいきません、然し、これは歌へないのではなくて歌はないのだらうと思ひます、何故ならば現代の人々はいづれも小學の門をくゞつた人々で

◇小學校時代　には立派に君ケ代の歌へた人々であるからです、公會の席上で君ケ代を歌はないといふのは全く時代錯誤的な心理であつて、之を一面から見れば國民的訓練が足りないのだとも見られます、我々の生活はよほど國際的になつて來てゐます、さうした國際場裡にあつて外人達から日本の大人は國歌を歌へないと笑はれることは此の上ない恥かしいことです、今月末には各小學校の卒業式や

◇入學式など　が相次いで行はれますが、さうした式に參列する父兄の方々は是非兒童と一緒に君ケ代を歌つて頂きたいと思ひます、又、一同が敬虔な氣持で君ケ代を歌つて居る時に靴音高く無遠慮に式場に入つて來たりする人がありますが、これは國歌に對して敬意を失すばかりでなく思慮のない行ひであると思ひます

小學校の兒童に劍道を課する可否（三）

旅順　阿部新三郎

以上で略現在の劍道は如何なるものであるかは明瞭になつたと思ふ。以上の經過よりして前記の理由とする點を顧みつゝ之れについて所見を述べて見たい。

「第一骨格筋肉の發達不十分な兒童には過勞に失する」

これは何も劍道特有の弊害ではない。目下正科として課して居る體操、殊に諸種の競技には可なり考慮を要するものが多いやうである。要は教授者の注意如何で解決出來る問題である。

「第二叡智の充分に發達しない兒童に強く鋭い刺戟を與ふる」

この問題は、弊害中の特種なものと思はれる。否劍道を課するを否とする論者が幾多の理由を擧げるが要はこの問題が首題とも云へる。以下に述べることも實は此の問題が中心である。殊に本問題は專門的醫學者の反對論の根據をなすの觀がある。而して吾人は解剖的、生理的、臨床的で醫學上の反對論をも聞いたし、又その反駁論も耳にしたが、醫學者の反對論は兒童を靜的狀態即ち、對抗的氣力に滿ちて居ない兒童に對する刺戟の上に論據を置くかの感があるが吾々の經驗によれば靜的狀態に於ける刺戟は、動的狀態に於ける刺戟の何十分の一の程度でも、時に障碍的範圍に入り、反對の場合には可なり過重な刺戟でもそれ程の危險の伴はぬものであると信ずるであるから單に表面的醫學上の推論ばかりでは正論とは云はれぬ場合がある。然し概括的に見て幼い兒童の頭を打つといふ事は、輕重は別物として絕對に危險でないとは認められない。そこで問題の中心は如何なる教授形式によつたら其の危險を除去して、絕對に安全であるかといふ點に歸着する、それとも又教授の方法を如何樣に考慮改善しても其の弊害を除くことが不可能であるか否か。吾人は信ずる。方法宜敷を得れば其の害を除くことはさほど難事ではないと。而して其の方法は以下の章に詳述する。

第三、及第四の問題は第一の問題同樣で、要は教授と訓練と設備の如何で十分解決されると思ふ。少なくとも現在行はれ居る各種の運動競技と略同樣のものと信ずる「第五設備の上に至難が伴ふ」劍道教授上の設備は他の運動競技に比し何も至難とは思はれない第一場所は學校の講堂か雨天體操場が最も適當である。稽古衣、袴りは得るもので、其の價ユニホームやスパイクよりは低廉に出來るしても、稽古衣袴は大抵自宅で造竹刀等は各兒童に購はしむる事に防具と木刀は學校に備へ付けるとしても防具は一人分十三四圓位で出來る。假りに劍道部員五十名あるとしても、二十人分もあれば充分間に合ふ。木刀は部員の數だけ必要であるが、之も一本四十錢位で永久的使用が出來る。百歩を讓つて兒童自身に購はしむるとしてもさのみ困難ではあるまいと思ふ

「第六教授者を得るに不便が伴ふ」

現在全滿洲の劍道有段者は三百を算して居る。勿論有段者は悉く教授者として適任者であるとは云へないが、少なくも教授者を得るに不便とか至難とか云ふ事は絕對ないと思ふ。

「第七教授の課程は十分組織立つて居ない」

是れは第三者の素人觀察に過ぎない。現に全國中等學校、警察官練習所等では整然と組織立つた教授をして居る。殊に現在小學校兒童に隨意科として教授して居る劍道は、其の方法や順序等各專門家間に於て愼重なる研究を重ね合理的組織的教授法を採つて居る。

「第八一齊教授に不便である」

劍道の教授法は以下に述べる樣に基本練習によつて試合に必要なる、總ての動作を意得せしめ、敵習試合によつて、對敵間合、氣合驗待一致の理合を意得せしめ、然る後互格試合に移るものである。而して基本練習の教授法は、體操の教授法と同樣に兒童を開列せしめ、一動作每に模範を示し必要なる說明を與へ以て、一號令の本に全員に動作せしむるのであるから場所の許す限り何十人でも一齊教授は容易である。

童話　豆畠と高粱畠（三）

豐村水星

すると、よくばり者の天海は、「それでは私に高粱のうゑてある畠を下さい。大豆のうゑてある畑はちつぽけだし、大豆なんか役に立たないから」と答へました。地海は兄が云ひ終るとすぐに

「お父さま、私は大豆畠を頂戴いたします」と答へました。畠を二人の兄弟に分けてしまつたので、百姓はすつかり安心してそれから間もなく死んでしまひました。お父さんから畠を分けてもらつた兄弟は、それから

めい〳〵百姓をつかつて、一せうけんめい働きはじめました。

天海の高粱畠はたいへん廣いので、大勢の百姓を使ひましたが地海の大豆畠は一寸しかないので百姓も少ししかやとひませんでした。

その中に何年かたちました。天海は每年每年たくさんの高粱を作つて賣りましたので、死んだお父さんよりももつと〳〵大金持になりましたが、地海は僅ばかりの畠で、大豆ばかりうゑてゐましたから、何時でも貧乏して居りました（つゞく）

醬油の見分け方

現在市中に發賣されてゐる醬油は電車の中や街上でいろ〳〵の廣告を見るやうに其の種類が非常に多く、其の品質も製法も材料によつて種々雜多であります、從つて使用者に於ては十分其の品質を吟味し純良なものを選ぶやうにしなければなりません、そこで醬油の品質の簡單な鑑定方を書いて見ませう

◇色の濃いもの……これは大概煮つめたものであつ香味共に惡く一般に下等品です

◇どろ〳〵したもの……これは何か混ぜ物のある證據で、やはり純良品ではありません

◇甘つたるいもの……砂糖の甘みで味をごまかしたものです、純良なものはあつさりした上品な甘みがあります

◇強い辛味のあるもの……舌を刺すやうな辛味のあるものは不良品と考へなければなりません、又いやに鹽辛いものはあとで食鹽を混じたものか、或は發酵のまだ不十分のものです、純良なものは柔かな鹹さを持つてゐます

テレビジヨソ

▽日向灘沿岸は三月に入つて鮪の大漁續き、二月から三月にかけて水揚百三十萬圓とは景氣がいゝ。

▽本月五日附で出た岐阜師範學校某教諭の辭令が內閣總理大臣田中義一と石版刷りになつてゐるので之を受け取つた同縣知事官房では眼を白黑、此の辭令は一旦內閣秘書課へ符箋をつけて逆戾り。

▽滿洲はまだストーブが取れないが臺南あたりは連日八十度乃至九十度の暑さでお巡りさんの制服も二月四日から白の夏服に衣更へしたさうだ。

大チャンノモウジウガリ（54）

ハルミチ作　ジラウ畫

「ウーム、アレダ　アレダ　アレダ」フタリ　ノ　ドジン　モノスゴイ　サケビゴエ　ヲ　アゲナガラ　大チャンタチ　ノ　ニゲテユク　ヤンタチ　ヲ　オヒカケテクル　ドジン　ノ　アハ　トウトウ　大チャンタチ　ヲ　ミツケマシタ　大チャンタチモ　ド　シオト　ハ　ダンダン　ウシロニ　チカヅイテキスガタ　ヲ　ミツケマシタ　大チャンタチモ　ド　ジンドモ　ニ　ミツケラレタコトニ　キガツキマ　マス、ソシテ　アヒダ　ハ　モウ　ヒャクメートシタ、ルグラキニ　セマリマシタ。

滿日案內

探偵小說 女妖 (39)

江戸川亂歩作 横溝正史 伊藤幾久造畫

時計の中(八)

パリー隨一の大金持と結婚する——。

あゝ、その言葉はかつて春巣街に於て安藤婆さんから聞いた言葉と同じではないか。あの奇怪な死美人が、生前安藤婆さんに打明けた、たつた一つの事がそれであつたのだ。して見ると、あれは全然出鱈目ではなかつたのだ。

「何々?パリー隨一の大金持ちと結婚する——あの女がさう言つたのか?」

「ハイ、確にさう申して居りました」

蛭田檢事は思はず鼻から太い吐息を洩らした。庄司三平はおどおどしながらも相手の様子を凝つと打守つてゐる。

「お前、その大金持と言ふのが誰だと聞かなかつたかね」

「それがその——何しろ相手が三等に乗る様な女でございますし、どう考へても嘘か出鱈目としか思へませんので、それ以上は訊ねなかつたのでございます」

「一體その女は濠洲で何をしてゐたのだね」

檢事は何事か打案じながら訊ねた。

「へイ、それはもう……」三平は薄笑ひを洩らしながら「船着き場の酒場なんかで、下等な船員を相手に如何がはしい職業をして居りましたので……私もその時分二三度會つた事がございます。尤も白根星子と言ふ名前を知つたのはあの女が船へ乗り込んでからでございますが……半年程前に船がメルボルンを出帆してから二三日目に、あの女と甲板で會ひまして、おやといふわけでございます。で、他に知合ひとてもない獨り旅の事ですから、船中私に種んな事を打明けたやうでございます」

「フム、フム」

蛭田檢事は思はず體を前へ乗出した。

「すると船が赤道直下近くなりました時分に、あの女がひどい病氣を致しまして……、何しろ相手は二三等船客の事でございます。船中で病氣をしたとなると、それはもう陸では想像の出來ないくらゐみじめなものでございます。それをこの私が種々と介抱してやつたのをひどく恩に着まして、今にフランスへ歸つたらきつとこの御恩返しをする——とさう申しまして大金持ちとの結婚を私に打明けたのでございます」

「成程」

「私も話があまり大袈裟なものですから笑つてゐて取合はなかつたのでございます。すると相手は躍起となつて、懷中から何だか古い書類のやうなものを取出しまして無理に私に見せやうとするのでございます。私はしかし、何しろ難しい書類なんかあんまり得手の方ではございませんので、よくも見ませんでしたが……」

「すると何だね。白根星子は何か古い書類を持つて居たと言ふのだね」

「ハイ、左様で……。これさへあれば否應なしに結婚が出來るんだからと、いつも虎の子のやうに大切にして居りましたやうでございます」

一體その書類と言ふのはどうなつたのであらうか。春巣街の事件の直後、死美人の身の周圍はいふに及ばず、安藤婆さんの家の中はくまなく捜索した筈である。然し書類のやうなものは一枚として發見さ[illegible]たではないか。

「さ[illegible]類といふのが、この[illegible]、そいつを手に入[illegible]女を殺害したも[illegible]さながら [illegible]